

# 幼児の教育

第五十二卷 第五號



日本幼稚園協會

5

# フレーベル館の28年度保育用品

- No. 41 幼児指導要録  
B5判、4頁、 定価 一部 5円
- No. 42 幼児指導要録の趣旨と  
その取扱いについて  
定価 4円
- No. 45 保育日誌  
定価 1枚 2円
- No. 47 園籍簿  
定価 1枚 2円
- No. 48 身体検査票  
定価 1枚 2円
- No. 50 園のたより  
A6判28頁 定価 15円
- No. 51 つうえんブック  
定価 15円
- No. 53 卒園臺帳  
B5判 定価 1枚 2円
- No. 55 保育料袋  
定価 1枚 2円
- No. 56 保育證書 (A)
- No. 57 同 (B)  
AはB4判、BはB5判  
定価 A 7円 B 5円
- No. 58 園児募集ポスター (A)
- No. 59 同 (B)
- No. 60 同 (C)  
定価 ABC 各20円
- No. 72 出席簿 (縦型)  
定価 1枚 2円
- No. 74 園のたより用ゴム印  
欠と休をあらたに入れました。  
1組 14ヶ 定価 200円
- No. 75 綴込表紙  
B5判 何でも綴り込めます。  
定価 50円

- No. 101 出席カード  
表紙裏に、身体検査表と月別出席表  
を入れました。  
A5判13枚(表紙共) 定価 35円
- No. 103 出席カード用貼紙  
10人分12ヶ月一箱 定価 200円
- No. 111 むりえ (初級)
- No. 112 同 (上級)  
B5判各10枚 定価 各35円
- No. 118 おさいく帳 (B)
- No. 119 同 (A)  
鼠紙10枚、黒紙2枚  
(B)はB5判 定価 32円  
(A)はA4判 定価 40円
- No. 126 自由画帖 (A)
- No. 127 同 (B)
- No. 128 同 (C)  
Cは上質ざら紙30枚  
定価 A35円 B30円 C25円
- No. 131 折紙(特製5寸) 定価50円
- No. 132 同(〃4寸) 定価40円
- No. 133 同(並製5寸) 定価35円
- No. 134 同(〃4寸) 定価25円  
以上いずれも1色100枚包の値段です。  
色の種類は16色。(並製は15色)
- No. 155 まんでんくれよん(12色)  
定価 60円
- No. 156 同 (10色) 定価50円
- No. 157 同 (8色) 定価40円
- No. 158 お道具箱(木製) 定価60円
- No. 159 同 (紙製) 定価35円
- No. 160 鋏(先丸鋏) 定価35円
- No. 168 たのしいおしごと(No.1)
- No. 169 同 (No.2)  
定価 各45円
- No. 171 組別名札(縦型)  
両面色紙ばり、色の種類は赤、黄、緑、  
白、桃、藤、水色の7色 定価1個2円

発行所 東京都千代田区神田 株式会社  
小川町二丁目五番地

フレーベル館 振替口座東京  
一九六四〇番

# 幼 児 の 教 育

第五十二卷

第五號

昭和二十八年五月

## 目 次

表 紙 .....	三 岸 節 子
人間性の涵養(1) .....	倉 橋 惣 三(2)
(ヌース)幼稚園の先生の今昔 .....	及 川 ふ み(4)
幼児保育団体について .....	多 田 鉄 雄(6)
<hr/>	
幼稚園児のグループリーダー形成について(1) .....	摩 瀨 靖 正(9)
絵画の具体的指導目標の設定について .....	富 田 陽 子(15)
<hr/>	
アメリカ通信(5) .....	津 守 真(29)
☆たのしいおしごと☆(4) .....	及 川 ふ み(32)
5月の保育 .....	{ 堀 合 文 子(34)
	{ 鈴 木 と く(40)
☆この子供たち☆(1) .....	松 原 至 大(46)
教育実際指導研究会のお知らせ .....	お茶の水女子大(28)

編 集 主 幹 倉 橋 惣 三

協 力 委 員 牛 島 義 友 及 川 ふ み 齋 藤 文 雄

多 田 鉄 雄 波 多 野 完 治 山 下 俊 郎

編 集 委 員 西 山 浪 太 郎 (五十音順)

発 行

日 本 幼 稚 園 協 會



## 人間性の涵養

— 序論 —

倉 橋 惣 三

幼児教育の最も根本にして、最も重要な目的は、人間性の涵養にある。この事は、恐らくすべての教育においていえることである。しかし、幼児の教育において、特にそうである。

この他の教育目的も、幼児に対して、それらの重要性をもつてであろう。しかし、知的教育も、芸術的教育も、或は所謂道徳教育も、又宗教々育も、幼児教育としては、人間教育をその基本とし、要訣とする。幼児教育が基本教育であるということも、この意味にあるものであろう。

幼児教育の要求も種々ある。しかし、余りに多くを要求することは、無理である。また問題の先後を混乱して、或は過重となり、或は概念の羅列となり、教育の真実を失う。時と

しては先生の満足に終りて、生活の実味を欠く。論理の満足を求めて、論理系列の遊戯に墮すおそれもある。徒らに完全を求め、余りに高きを求めて、却つて空虚になる。怖れもある。教育は実を求め、真を辿る。人間性の教育は初めにし終りである。すべてが、その上のことである。この基礎なくして、あらゆる教育は、真の成長を得ない。芽を愛す。しかも、芽を重んず。芽を重んずるとは、芽を芽として重んずるがゆえに、芽以上を求めないのである。花を求めない。実を求めてはならない。それらは後のことである。芽を重んずるは、早咲きの花や、早なりの実を思わないことである。

芽は芽にて足る。幼児教育者はハンブルである。ハンブルであるが故に小さき点を愛する。誇張をきらう。見せかけを

思む。思みきらうというよりも、おそれる。微かなる点を求めて、そこに止まる。その代り、微かなる真実に敏感にしてそれを見失わないのみならず、その微かなるものに、一ぱいの価値をおく。微かさを気づかないのは、微かなるがゆえではなくして、求むるところの多きに由ることが多い。濃色を求むる目には、微かな色の美しさも、ニュアンスも感じられない。騒音に馴れる耳には、微かな楽音の微妙を聞かない。強い味に馴れる舌には、微かな味を味わない。幼児の生活の音も色も味は淡い。それを感じ得ないものは、幼児の傍にあるに値しない。その人は、幼児以上の濃厚或は強烈の友となるがよい。況んや、その微かなる色と音と味とを真に幼児のものとして、養い育て、ゆき得る人ではない。

『お礼をいわない幼児のよろこび』『強いて尽さない幼児の好意』敢て敬意を表しない幼児の尊敬『歌わざる幼児の嘆美』しかもそのよろこびも、好意も、尊敬も、嘆美も、決して、無ではない。不感ではない。無関心ではない。その微かにして真なるものを、感じないものは、誰れか。そうして、またしても、感謝せよという。自己を尽せよ。尊敬の形をあらわせよ。声を美しくして歌えよというのは、誰れか。そして塩を加えよ、砂糖を加えよ、彩れよ、形にあらわせよと強いて、その微かなる味の真を失わせるものは誰れか。その人

は、幼児の傍にあるにたえないのである。憐れなるものよ。そうして、気の毒なのは幼児である。そうして、その憐れなる先生に対して、自分を濃してゆく術を覚えてゆくのである。そのたんびに、その微かなる真を失つてゆくのである。世に気の毒なものにして、微かな真を感じて貰えない幼児の如きはない。

筆者はこの論を草するに当つて、自ら題意の明かでないのを苦む。自ら題をかゝげてその意を詳かにしないのを恥づ。道徳教育といわず、宗教々育といわず、色も音も香もない人間教育としたのは、何んのころか。——以上述べたところで、はい、分つて下さると思う。

※ ※ ※





## 幼稚園の先生の今昔

及川 ふみ

今年の四月にお茶の水女子大学から巣立つた学生のうち、家政学部児童学科からの一〇名と、教育学科の一名の一名のものが、教育職員免許法の規定によつて、始めて幼稚園教諭の一級の免許状を、高等学校、中学校の教諭の免許状と併せて修得した。(基礎資格としての学士の称号を有すること、大学に於ける最低修得単位数としての、一般教育の三六単位、専門教科の保健体育、音楽、図画工作、のそれぞれの四単位、教職の二五単位復修による)

在学四年間にこれ等の学生たちは、児童学科としての専門に、他に履修すべき学科の多い中に、幼稚園教諭としての特別に必要なこれだけの単位を修得することに努力した学生たちのあつたことは直接幼稚園に関係するものとして誠によきことである。

学園を新らしく巣立つたものの常として、学問的の基礎知性は備えていても、実際の経験もなく、保育技術の習練は、実地保育にあたる今後の研究にまつものが多いので、従つてその道の先輩諸師の心温い指導によつて育成されることに期待されるところが多い。

この卒業生のうち、今年すぐに幼稚園に就職するものは数人であるが、このコースがはつきり開かれて、しかも実際にそのコースを進むものがあることは幼稚園教育の進展のために何といつても力強い限りである。

これを考えるとき、思い出されることは、十数年前のことと記憶するが、倉橋先生を中心として、幼稚園の関係者たち相よつて、幼稚園教員の資格、ならびにその養成機関などについて種々討議したことがあつた。その時幼稚園教員の資格の一つとして、四年コースの大学修了の要望を強く提案したのは、今は病める前東京竹町幼稚園長の鎌田しんさんと私とであつた。これは幼稚園の教育の実際に携るものとして、その教員の実情に対して切実な要望であつたのである。これは勿論すべての幼稚園の教諭にのぞめるところではないことは、私共としてもよく理解していたのではあるが、四年コースを進んで幼稚園教員たんとするものが一人でも、二人でもあればという望みと、これと同時にそれ等の人々に対して、大

学の門戸が開かれるということであつた。幼稚園教育の眞の進展にはどうしても有数の教員の育成から始められるということである。

当時これはただの夢の如き理想でなく、現実にそくして緊急な要望ではあつたが、これがはたしていつの時には実現されるものやら、内心甚だ心細い見通しであつた。

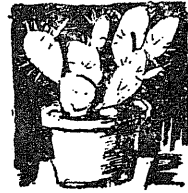
それが昭和二十四年の教育職員免許法の実施によつて幼稚園教諭の一級免許状は四年コースの新制大学卒業者にして、しかも幼児保育に必須な専門科目などの詳細な条件のあることであり、さらにその第一回の新しい卒業生を昭和二十八年三月に現実を迎えることが出来たことである。

その昔といつても、二十年ほど前のことかと思われ、女高師を新らしく卒業して附属幼稚園の保姆に就職した若い先生の話であつた。卒業後はじめて郷里にかへつた際、この就職をきいた親類や近隣の人たちが不思議がつて、女高師を出ながら、どうして幼稚園の保姆などになるのかとただされ、これ等の人々に返答するのにとりわくして、幼稚園の先生の先生になつたのだといつてやつとその人々を納得させてきりぬけて来たとして、幼稚園の教員の資格などについて全然認識不足を悲観したりふんがいたことを今日に新たに思い出されるのであ

る。

又ある時はこんな話もあつた。夏季休暇などで郷里に帰省した幼稚園の先生が、田舎の駅で学割証明書で切符を求めると出札掛は学校の証明書を眺めて保姆さんですね保姆なんか学校の先生ではないから学割は通用しませんよ」とあつさりことわられて当時なにかの割引の恩恵にあづかれずふんがいて、今後は証明書に保姆はやめて教諭とかきこんでくれと要求したことなどもあつた。笑いごとの様であるが当時の實際話であつた。当今でも、幼稚園教員の資格などのことはその専門のものでないとよく了解されていないのであるが、一昔二昔前はほんとにその認識の状態はひどいものであつた。一般社会人からは幼稚園教育の重要性の何たるかを全然考えられることなしに、幼稚園は単に子供を遊ばせる場所であり、それにとめる保姆は子守同然の様に思われてその資格や、待遇について、いつも問題にされることもなく幼稚園を学校の外のものとして、埋れていた時をしみじみ思い出されて、今日ここに感深いものがある。

これからの新制大学卒業生を幼稚園の先生に迎える私共先輩は、その待遇問題の上に第二の宿題が待つてゐることを考えたいのである。



## 幼児保育團體について

多田鐵雄

幼稚園と保育所が法制的には、一方は学校教育法、他方は児童福祉法が規定するところであり、その行政上の所管が文部省と厚生省とに、それぞれ分れていることは云うまでもないことであるが、最近一年前までの幼児保育界において幼稚園・保育所の一元化の問題が繰返し、繰返し論議されていたことは、誰一人として否定する人はないであらう。

一元化の良し悪し、その方法については、こゝで一々取上げて行くことは出来ないから別として、問題がこのような形において長らく論じつづけられて来たことは、それだけの理由があつたからだと云つてよいであらう。

このことを前置きして、現在の幼児保育の諸団体の実情を見るに、都道府県にはそれぞれ公立幼稚園団体、私立幼稚園団体、公立保育所団体、私立保育所団体がある。もとよりこの四つのどれかが欠けている地方も若干存在している。次にいくつかの都道府県には公私立連合の幼稚園団体及び保育所団体があり、

更に公私立の幼稚園・保育所の連合団体の存在するところもある。更にこの公私立の幼稚園・保育所の全国的連合たる日本保育連合団体があり、又私立幼稚園のみの全国的連合たる日本私立幼稚園団体があり、更に公私立の保育所の全国的連合として全国保育所団体がある。この他に私立施設にあつては、宗教的立場から基督教保育団体、仏教保育団体が存在している。且つ私立幼稚園団体は私立学校団体の一翼として私立学校総聯合体の一単位をなしておる一方、私立保育所団体も社会事業団体の一翼となつている。

もつともこのような団体も之を仔細に見れば、その主流が教員又は保母であるものと、園長・所長乃至経営者であるものとして、これらの団体については別に問題があるが、それはそれとして、これらの団体が特に、例えば何々教員団体、何々園長団体と名乗らぬ限り、その施設全体を代表するものと考えらるべきであらうし、又事実もそうでなければならぬはずである。



さて、このような諸々の団体は凡て果して必要不可欠のものであろうか。それらの諸団体の設置目的は色々であるが、之を要約すれば各施設が協同して、その施設が目的とする事業を発展向上せしめるためであると云えよう。事業の発展向上のためには、それを促進するに都合のよい条件を整備する努力が要請されると同時に、各施設が共同の目的を持つているならば、共同の利益を図ることも忘れられてはならぬことであろう。共同の利益を図るとは、共同して他に当り、以てその利益の実現を期すとともに、他の施設の犠牲において自己の施設の利益を図るようなことのないように協定することだけに留まるものであろうか。更に進んで、相たずさえ、相互の努力、研究の成果を交換し合い、又その欠陥排除の方法を発見するために協力して行くことも、又極めて重要な仕事である。以上のことは自明の理であつて、改めて云う要もないことである。

それならば公立と私立との間においても、或る場合には利害の異なるものがあつても、やはり協同して事に当るべきことも亦多々あることは云うを俟たないから、公立幼稚園団体はそれ自体で立派な使命を持つているが、同時に私立幼稚園団体と協力するための連合体を組織することも当然である。

幼稚園と保育所とはどうであらうか。形式的に幼稚園は学校体系の一環をなして教育機関であり、保育所は保護機関にすぎないとして、全く別個のもののように割切つてしまふ如きは、現実に眼をことさら閉じて物言ふところと云わざるを得ない。眞実に就学前幼児の幸福を希念する私共は、このような単

純な態度をとりうるものであろうか。現在の保育所の在り方には色々批判されるべき問題がある。と同時に幼稚園についても問題がないわけではない。しかも一方、地方においては、殆んど幼稚園施設が存在しないために保育所がその役割をも引受けているところがあるし、又その逆の場合のところもある。

更に大都市に多い無認可幼稚園、保育園の問題は幼稚園と保育所との両方から絞つて行くのでなければ解決はつかないし、保育所保母と幼稚園教員の養成は一本では出来ないかの問題もある。そして、何はともあれ現実には、保育所の多数が来年度に就学する幼児を相当数保護し、且つ教育しているのである。又、学校教育法が「幼児を保育し……」と云つて「教育」するだけ云つていないことにも留意せねばならない。このことは幼児に關しては保護と教育とが相交錯する實際と、更に我が国で幼稚園と保育所の歩んで来た道が特に両者の關係を近付けざるを得なかつた事情にもよるのであつて、例えば明治年間における教育政策が幼稚園に託児事業的役割を演じさせようと努力したこと、大正末期の幼稚園制定の際にも、幼稚園と託児所の問題が未解決のまま、持越されて、文部省では幼稚園も亦、託児的事业を営みうるよう満三才以下の幼児の入園も認めていたこと——この経過は文部省教育調査部発行「幼児保育に関する諸問題」（昭和一七年）に詳細に紹介した——、更に今次大戦中に託児事業的任務をも果させるべくその可及的増設を企図した幼稚園が、之を府県立にするためには勅令の改正を要するので、その類を避けて戦時保育所としたことなどである——この時は

現在の岐阜大学教育学部部長松久氏がこの仕事を推進し、筆者自身もそのお手伝いをしたのであつた——。更に現在に至つても幼稚園、保育所の問題がすつきりした解決を得ないでいるのは端的に云えば文部省系統と厚生省系統との所管の争ひの犠牲になつてゐるからである。即ち児童福祉法が成立する直前にも、この矛盾を解決するために、例えば山下俊郎氏のような学者とか、文部省系統の側から申入れがあつたにも拘らず、厚生省系統側との見解の相異から、それが考慮されずに成文化されたのである。しかも実はこれは単に厚生、文部両者の不一致のみ云うだけでなく、諸外国の例を見ても、就学前幼児の保育を或は社会施設を考へる国、或は教育施設を考へる国と双方存在するように、問題は仲々簡単ではないのである。

それはそれとして、私共は自分達の事業の目的を眞に遂行するためには、屢々他の事業団体との協力が必要であることを知つてゐる。例えば学校はその教育目的を完遂するために、地域社会の諸々の機関、団体と協力してその成果をあげねばならない。ましてや「就学前の幼児は境遇の如何に拘らず同一種の施設で同等の教育が受けられるようにすべきである」とする理念が正しいとするならば、現在において幼児が幼稚園と保育所とに分れて教育されている実情に対しては幼児保育関係者は挙つて努力を払う一方、先ず実質的には同様の教育が受けられるように幼稚園、保育所関係者は協力を計るべきでもあろう。そのためには必ずしも両者の連合体を組織する必要はないかも知れない、しかしかかる連合体が組織されていれば一層協力の実が

あがることも自明のことである。もちろん現在ある連合体の在り方については色々の批判があろうし、改めるべき点が数多く存在することも確かであらう。然しそのことは、決してかかる連合体の存在を否定乃至抹殺してしまふ理由とはならないのである。従つて、若しこの理由から現在ある各種の連合体を不要であると切断する傾向があるとすれば、これはも一度考え直す必要があらう。いわんや、厚生省の側で保育所団体に対し、幼稚園団体との協調を禁ずるような示唆を与えてゐるとかの風評が万ヶ一にも事実であるとするならば、かかる官僚の独善、俗吏的利己主義は詭し難いものと云う他はない。一方、文部省の幼稚園所管関係の人々が、文部省の仕事はたゞ幼稚園を發展向上せしむれば足りるとして、わが国の就学前幼児のおかれてゐる現実を無視しようとする態度が万ヶ一にもあれば、之も亦眞の公僕から距ること遠いものと云うべきであらう。

私共は、現実に幼児の幸福を願つて仿いてゐる幼稚園、保育所の関係者が、このような風評、傾向をそのまま、黙視して置いていであらうかと考へる。一元化の問題の解決が今後に残されてゐるかがり、そのことだけのためにも、幼稚園、保育所の両団体は相協力して正しい方向を生み出すよう努力すべきではあるまいか。

# 幼稚園児のグループブリーダー形成に就て (1)

摩 瀬 靖 正

## 〔目 次〕

### 序 論

- 第一、幼児の心理的特徴
- 第二、幼児教育指導上の方法
- 第三、幼児の社会行動的活動の様式
- 第四、グループブリーダーの定義
- 第五、リーダーの型
- 第六、一般的リーダーの特質
- 第七、幼稚園児のリーダーの特質
- 第八、幼稚園児のリーダーたるべき資格を有しておる性質
- 第九、幼稚園児のリーダーとしての必然的に備われなくてはならない要素

### 結 論

(京都市内幼稚園児に施せしグループブリーダー形成に就ての実体調査は別紙に記入することにした)

時代の変遷にともない、幼児教育が如何に重要性をおびてきたかという事は、我々幼児教育にたずさわる者は勿論、一般社会人の間にも常に論ぜられる様になつて来たのである。

「三つ子の魂百まで」とか「雀百まで啼りを忘れず」とかいう諺が意味する如く、幼児の社会的生活活動が人生への基礎ともなるのであり、又社会性の発達段階に於ての最も重要な時期であると共に、人格形成の初段階ともいふべき位置に存在するのである。

人間は本来社会的動物である。社会的存在なのである。従つて単なる孤立的な個人は考えられないのであり、即ち個人も結局社会的

個人なのである。幼児の世界にあつても幼児教育機関即ち幼稚園、或は保育園等である。集団生活を通して、協同、社会連帯、相互依存の社会生活に必要な精神、態度の基礎を日常生活の中に楽しみつゝ、体得して行くのである。幼児は常に興味と要求とに応じて、自発的に愉快に活動するのであり、故に我々教育に当る者は斯様な幼児の活動を誘い、促し助け、その成長発達に適した環境を創造する事に努力しなければならぬのである。それには先づ、本論幼稚園児のグループブリーダー形成の面に就て述べる前に、一般的幼児心理の特徵をよく理解し体得せねばならないのではなからうか。一般的幼児心理の特徵をよく理解し体得したうえで、それに即した方法で教育の目標を達成していくことが必要で、幼児を取

り囲む直接の環境に順応せしめることが幼児教育の使命であるということ念頭に入れて論述して行くことにしよう。そこで第一に一般的幼児心理の特徴とは如何なるものであるか。一般的に幼児の心理とは如何なるものであるかを簡潔的に掲げてみることにする。

### 「第一」 幼児の心理的特徴

- (イ) 原始的な感情を有しておるのである。
- (ロ) 注意力が持続しないのである。
- (ハ) 用語範囲が狭少である。
- (ニ) 経験範囲が狭少である。
- (ホ) 利己的であり、主我的である、尙自我中心である。

右の如き分野が一般的幼児の心理的特徴といえるのであり、その心理のもとに行動発達して行く幼児を眺めるにつけても、次におこるべき問題として幼児教育指導を行うに就て如何なる方法をこうじなければならぬかという点が生まれてくるのは当然なのであるがそれでは如何なる教育指導上の方法が必要であるかを次に論ずることにする。第一の如く個条的に列挙しよう。

### 「第二」 幼児教育指導上の方法

- (イ) 無意識印象を深からしめなければならぬのである。
- (ロ) 具体的道德的標準を示さなければならぬのである。
- (ハ) 服従、親愛の精神を涵養せしめなければならぬのである。

右の如く幼児教育指導上の方法が考えられるのであり、幼児は常に感覚の世界に生き、リズム的活動を要し模倣の時期などであるが故に、斯様な面を常にキヤッチしつゝ教育していかねばならぬのである。

幼児の生活を見るにつけても、種々の変化活動の中に日進月歩成長発達して行くのである。幼児は毎日の遊びそのものが生活であり学習なのであり、それを通して未知の人生へと発達育成されつゝ、行くのであるが、その中に於て、日常観察するにつけても、種々の観点より取り挙げる問題が多く横たわつておるのである。今此処に於ては、その研究の一端として幼児の自由遊びの中に形成されるグループリーダーに就ての点のみを探索して行くことにする。

M. Parten and S. M. Newhall がアメリカミネソタ大学附属 Preschool に於て短時間抽

出法による幼児の社会行動的活動の様式なるもの研究結果を述べておるがその様式を参考として左に列挙することによつて、本論題の内容を明らかにしていきたいと思ふのである。

M. Parten and S. M. Newhall : Social behavior of preschool children in the child behavior and development by Barks, Kounin and Wright (中に次の様式を述べておるのである。)

### 「第三」 幼児の社会行動的活動の様式

- (イ) 何もしてゐない行動 (Unoccupied Behavior)
- (ロ) 独り遊び (Solitary Play)
- (ハ) 傍観者の行動 (On Looker Behavior)
- (ニ) 平行的遊び (Parallel Behavior)
- (ホ) 低い連合的遊び (A low Type of associative Play)
- (ヘ) 高い協同的遊び (A high Type of associative Play)

右の如き社会行動的活動の様式を掲げておるのであるが、今此処に問題として取り挙げる必要性をもつておるものは低い連合的遊びと

高い協同的遊びの二種なのである。何故なればこの二種はグループを形成するものであり、後者は一応幼児間にもルールなるものが実認されておるのである。私は文頭に掲げたる如く幼児のグループリーダー形成を論じていくのが目的なるが故に、特に二種の様式より生れ出するグループの形成にともない、追つてリーダーなる者の諸点を明らかにして行きたいのである。

扱、此処にグループリーダー形成に就て種々の面を論述する前に、グループを形成するその中のリーダーとは如何なる意をいうのであるかという、要するにリーダーの定義より論じていきたいと思うのである。

#### 〔第四〕 グループリーダーの定義

「リーダーとはグループそれ自身の行動の方向や様式を現実の規定し、他の成員に対して決定的な力を及ぼすところの成員をいうのである。」従つてリーダーは、心理学的集團と社会学的集團との一致する集團に於てのみ発生するのである。尙此処で心理学的集團と社会学的集團の意を解しておく事にする。即ち心理学的集團とは、或るグループを第三者

として客観的に眺める立場。例えばグループを自己以外のものとして眺める場合であり、これ即ち心理学的集團というのであり、社会学的集團とは、グループの中に自己が含まれ、他の人が自己の行動的環境の中にあるものとして、眺める立場を意味するのである。此等二種の關係が一致するグループに於てのみリーダーが発生するのである。

次にリーダーの型は幾種類あるかに就て述べることにする。

#### 〔第五〕 リーダーの型

(1) 人徳的リーダー……自然的なリーダーをいうのである。

(2) 暴力的リーダー……権力的或は破壊的なものを意味するのである。

人徳的リーダーは自由遊びに於て自然的に形成されるグループ内にて自然発生の社会的態度を助長するにあるのであり、暴力的リーダーとは、一般に子供の世界にあつては、普通ガキ大将とかお山の大将とか腕白小僧とかいう類に属し要するに破壊的態度に出るリーダーを意味するのであり、真のリーダーとしては成立せず寧ろ暴力的に出るのであり、自然

発生のグループをも流散してしまふ危険性を多分に有しておるのである。そこで今、此処に論ずるグループリーダーは人徳的なるもののみを考察究明し、リーダーの諸面を明らかにして行くことにする。そこで、一般的リーダーと幼稚園児の形成するリーダーとの相違点等を論じてみよう。

#### 〔第六〕 一般的リーダーの特質

如何なる小さなグループ、大小を問わず質が等しいものは一つも存在しないのであり、そこには指導的立場を持つたものとしての場と、導かれる者としての場との二様が成立するのであるが、此処に一般的リーダーの特質といおうか、特徴としては次の様な意を有しておるのである。即ち、グループの性質、目標、集團員の年令、性、人種、性格等の諸点によつて異なるのである。

#### 〔第七〕 幼稚園児のリーダーの特質

幼稚園児の社会的行動をみても、幼児の日課は社会性の発達の中に、遊びそのものが生活なのであるが、そこに於て形成されるグループリーダー勿論此処では人徳的リーダーを

いのであるが、そのリーダーの特質は次の様な点が挙げられるであろう。リーダーは主導性をとる者であるのはいうまでもなく、一般に幼稚園児は、身長、知能、遊戯に対する暗示的な力のある者がなり易いのであり、性別の差は主要ではない（京都市内幼稚園児の形成するグループリーダーに就ての実態調査に依る）国籍、親の社会的地位、容貌の美等は主要ではないのである。これに反してグループに対する公平、責任感等は比較的の重要性を持つておるのである。尚幼稚園児にありては、外的条件が有力であるが、年令の進むにつれて道徳的条件が重視される様になつて来るのである。幼稚園児の自由遊びの中でリーダーになつておる幼児は如何なる現象を表現しておるかといへば、例えば砂場にあつては、我儘、勝手に行動をコントロールしたり消極的な子供を勇気づけたり又彼等の協同行動を興味づけたりするのである。ブランコの場合に於ても、順番をきめてやつたり、数えてやつたりする。尚雑談の中に入つて彼等の知的活動をさえ促進してやる事が出来るのである。

斯様な点に於て、一般的リーダーの特質

と幼稚園児のリーダーの特質との相違点が見出されるのである。それでは斯様な幼稚園児のグループリーダーの特質よりして、次に如何なる性質の持主がリーダー格として選出されるかを、京都市内幼稚園児のグループリーダー形成に就ての実態調査の結果を発表する事にする。

〔第八〕幼稚園児のリーダーたるべき資格を有しておる性質

実態調査の裏付けとして得られたる研究結果を次に簡条的に掲げる事にする。尚実態調査は別紙参照される様。

(イ)グループの遊びに於て、自己を打込んで然も自信を持つて、統一力を有しつ、誘導して行く力があるのである。

(ロ)明朗快活にして、然も決断力を有し、全体を把握して希望する目標に向つて誘導して行く力を有しておるのである。

(ハ)グループ内の各個人の特徴を掴んでおるのである。

(ニ)グループの遊びに於て、世話好きにして親切心があり、然も落着きの中に他の幼児にうまく合う様に誘導して行く人力を有しておるのである。

(ホ)グループ内で創造力を有して新しい方向をも創り出して行く力を持つておるのである。

(ヘ)グループ内で積極的に行動し、素直な気分の中に、社交性を持つて指導して行く力を有しておるのである。

以上右の如き簡条的なものが必然的に備われないならばならぬリーダーとしての共通面を研究結果発表したのであるが、それでは次に論を進めて、リーダーとして必然的に有していなければならぬ要素とでもいおうか条件的なるものを左に簡条的に論述する事にする。

左の研究結果は、京都市内幼稚園児の実態調査に依るものである。

〔第九〕幼稚園児のリーダーとして

必然的に備われなくてはならぬ要素

(イ)智的なる面、知的なる面を見ると先づ知能は発達のに見てもその持主は、標準以上の上位を占め優秀なる者がリーダーになつておるのであり、知能の優れない者は人徳的リーダーとしての資格は有せないものである。

(ロ)向性 (Personality を含む) 向性の面とは即ち幼児を外的条件のみに止まらずして一

応内的条件をも必然性を増して来ておるのは

当然であり、そこで向性、換言すれば、性格の面をも研究してみたのである。向性を研究するに就て向性検査を試み、別紙の要領で京都市内園児二八〇〇名に行い、如何なる向性の持主がリーダーになつておるかを研究したのであるが（三歳二月～六歳十月）その結果からしてみると、外向性の幼児が全般的にリーダーになることが解つたのである。内向性の幼児はリーダー格としては認められないのである。尙此処で問題となるのは、今まで幼児に対して向性検査は困難ではないかという論が出ておつたのであるが、私は此処に論題に関する範囲内にて行なつたのであるが一応成功の途を見出したのである。尙此処では向性検査に就ての詳論は略すことにする。

(4)健康状態、幼児の健康状態の面から考察してみるに、やはり、リーダーになる幼児は不健康即ち弱身型の者では認められず、健康的で丈夫な幼児、何時も元氣にて活潑な伸びくとして育つておる幼児にリーダーとしての要素が含まれておるのである。

(5)情意的な面、此の面に於ては、他を抱擁する雅量と落着きのある者がリーダーとなつ

ておるのである。

以上右に述べたる如く、リーダーたるべき幼児の必然的に備われなくてはならぬ要素として四箇条挙げられるのである。知的な面として知能検査に依つて調査し、向性的な面として向性検査を使用し、それに附して健康状態、或は情意的な面に及ぶ調査を行つたのであるが、右の箇条がやはり、リーダーとして必然的に備われなくてはならぬ要素として見出すことが出来得たのである。

此の要素はリーダーを通して備われておるのであり、此の中一箇条でも欠けたればそれは真の人徳的リーダーとしては、望めないものであり、此の四箇条の備われる幼児に於てのみリーダーとしての要素なるものが強調されるのである。私は此の四点をリーダー格としての条件として、四要素と呼ぶことにする。

## 結 論

以上既述の如くグループリーダー形成に就て種々の面を考察して来たのであるが、要するに幼児の世界に於ては、社会的場面は、必

ず自分はその人と比べて如何なる地位にあるのかという自我水準を、その時その時自ら決定し予期しておるのである。自分はこの人より力があるとか、自分はこの人より偉いとか他人との比較対象に於て、自我水準を定めて行動するものである。然し此の自我水準はその時の相手によつて高くなり或は低くなつたりして、一定しないのであるが、何時も割合に自我水準を高くとり易い傾向を持つ幼児と何時も自我水準を低く持つ幼児とがあるのである。それが所謂性格の相違になり、しばしばる幼児は自我水準を高くとり易く、自我水準を高くとり易い幼児は結局リーダー格になり易いのである。そのリーダーはその時の構成員の状態によつて、相対的に決定され、その時自我水準の比較的高い者がリーダーになるのである。然らば何時も同じ幼児が如何なる場合に於てもリーダーになるのであるかという問題が生じて来るのは当然なのであるが一般にある面ではリーダーになるからといつてそれが他の面ではリーダーになるとは限らないのである。それは何故か、それは自我水準はその時、その場面、構成メンバーの質によつて変化するからである。然るに、どうしても

リーダーになり易い幼児がおる事は事実で、自我水準を高くとり易いものがある。

然してしやばるといつても幼児の、しやばりは幾種類もあるのである。例えばおせつかいのでしやばり、我儘なでしやばり、侵攻的でしやばり等、おせつかいのでしやばりは、内向的なる幼児の世話をすることも出来、先生等に種々命令されなくても自分から進んで例えば色紙配らして頂戴とか先生の代りにしてあげようとかいつて行動欲求を表わすのであり、此の類はリーダーとして真の意を發揮せしめることが出来るのである。次の我儘とか侵攻的などしやばりは、真のリーダーとしては認め得ることは困難であつて、侵攻的でしやばりは、ガキ大将とかお山の大将とかいう暴力的リーダーになる危険性を多分に含んでおるのである。

グループを形成する幼児にリーダーシップなるものを包含させつゝ、よきグループとして人徳的にスムーズに誘導せねばならないのである。

右の如く幼児の世界にありても一種の観点即ち、幼稚園児のグループリーダー形成に

就ての面を眺めるにやはり右の様な観察より研究が横たわつておることを思う時、我々は未だく幼稚園の世界にありては研究されるべき余地がある事は当然の意として努力せねばならないのである。私は此の論題に就て九項を挙げて研究したのであるが、考察の範圍を変えれば未だく蓄積された資料が横たわつておることと思うが、此処に選出した項目に依つて幼稚園児のグループリーダー形成の面が略々明らかになつたことと信するものである。

最後に斯様な幼児の多面的な活動に対して我々集団生活の中にある幼児を指導して行かなければならぬ者としての必然的に備われなくてはならぬ資格としては、先づ身体が強健でなくてはならないのであり、言語明晰にして挙動が明朗闊達である事が必要なのである。

尙それと関連して教育者の身なりも軽快であつて、明るい感じを幼児に与えるものでなければいけないのである。要するに幼児を指導する教育者の態度としては、幼児のことを常に心配する慈愛の心と幼児を敬服させるだ

けの技師とが、強健な身体と明朗闊達な言動とによつて、遺憾なく發揮されなくてはいけないのである。

以上の如く幼児教育の重要性を見るにつけ此処にその一分野の一点として研究を取り挙げるに至つた幼稚園児のグループリーダー形成に就ての発表を終ることにする。

幼児は常に伸育されて行く。我々はその美しき赤裸々な姿である幼児を正しく、明るく真の愛情を持つて、常に我々自身、反省と自寛の中に育て上げて行かねばならないのである。

(筆者、京都市西山幼稚園長)



# 絵画の具体的指導目標の 設定について

富 田 陽 子

「子供の絵をどう見たらよいのかしら」とのように指導したらよいのかしら」

就任第一歩、壁一面に貼られてある子供達の絵を見ながら、私は迷い、いろいろと考えました。兎に角子供をすることだ、私は勇気を出して子供達の中に飛び込んでいきました。幾冊となく本も読み、いろいろと人の話も聞きました。が、実際、子供達から教えられた数々の事柄は、常に新たな感激と勇気と反省を与えてくれました。いつも子供達に教えられながら、子供の絵を理解することに努め、子供達と共にひたすら絵をかくことを楽しんで来た一年間でした。

今年には昨年の体験の上に、更に一歩々々綿密な計画の下に進んでいきたいと、子供達の実態調査に基づいて、私の組の具体的指導目標を設定して指導を進めて参りました。未だ経験も浅く、資料にも乏しく、甚だ拙いものではあります。が、此処に纏めて発表させて頂きます。

## I 絵画の一般的指導目標

### (1) 絵画の目標

普通、子供は満一年と六ヶ月頃から絵を描き始めると云われています。新聞紙の間には

さまれて来る広告の裏に、或は兄さん姉さん達のノートに、又時には壁や襖にまで描きながらの絵。この「み、ずののたくり」や「ぐるぐるがき」のように、最初は単なる身体運動的なものにすぎなかつたものが、それらの中に何かの対象を見出し、「お山」とか「お菓子」とかの説明がつけられるようになり、やがて「描くもの」を意識してそれを表現するようになります。その時期については、子供達を取り巻く様々の環境や発育の違いによって個々の差はありますが、このような発達段階を経て入園して来る子供達の絵を幼稚園教育においては、どのように取り上げたらよいでしょうか。

学校教育法第七章第七十八条の第五項には「音楽・遊戯・絵画・その他の方法により創作的表現に対する、興味を養うことと示されている。更に「保育要領」においては、保育内容の第七「絵画」の冒頭に「絵を描くことに興味を持たせ、よく描けたかどうかという結果よりも、楽しみながら描くことの喜びを味わわせることが大切である。のびのびとした気持で自由な表現をさせ、表現することの喜びを十分に味わせ創作的表現に対する、興

味を養う。」と述べている。

Homer Lane ホーマーレインは "Talks to Parents and Teachers," (親と教師に語る)の中で「人間の精神はその發展の最初から——即ち生れるとすぐ——二つの異つた要求をもつている。それは所有することと創造すること。もつていることと実験すること。まさに経験した快楽を繰返すことと、新しいことをなしとげる興味の為に新しいことをすること。の二種類である」と述べています。

又、フランツ・チゼックは「画家を養成することではなく、児童の創造力を發達させることとであり、そしてひとたび創造力がめざめれば人生におけるすべての前途がこの創造力によつて影響されるのである」ともいつております。

さて、この「創作的表現に対する興味」を養う為には、どのように指導したらよいのでしょうか。それには先ず指導の目標をしつかりたてることが必要であると思います。

### (2) 絵画の指導目標

その指導目標については、一般的には現在のところ未だないようです。強いて求めるならば「指導要録」の絵画製作の項に示され、

更に「指導要録の解説」の中で説明されています。しかし、これは「評価規準」であつて「指導目標」ではありません。けれども、評価はその目標に対するものでありますから、逆にこれを目標とみなして取扱つてみる事としましょう。今此処にそれをあげてみますと

- 1、喜んで絵を描いたり物を作つたりする
- 2、絵を描いたり物を作つたりして自分の気持を表現する。
- 3、形や色や模様に関心をもつ。
- 4、身近かな造形品に関心をもつ。

の諸目標となります。しかし、この四つの指導目標の表現は非常に抽象的で、これを實際保育にそのまま取り上げるには種々の困難があります。そこで、これらの指導目標を日常の保育に役立つよう、更に具体化する必要があると思われれます。(小学校においても、図画と工作は図画工作科として一科目になつておりますし、幼児指導要録にも絵画製作となつておりますが、今回は特に絵画についての具体的指導目標の設定について述べたいと思いますので、一寸この点をおことわりして置きます)

### II 具体的指導目標

#### (1) 設定の方法

それでは、どのようにして設定したらよいでしょうか。私は、これを發達段階と小学校教育との関聯の二つの立場から更に具体化することにしました。

#### (A) 發達段階

發達の段階については人により色々の分け方をしているようですが、前に述べたホーマー・レインの分類によれば、誕生より十七才迄の子供を心理的にわけて、

- 誕生〜二・三才——幼児時代
  - 三才〜七才——空想の時代
  - 七才〜十才——自己主張の時代
  - 十才〜十七才——協同の時代
- の四段階としています。

更に絵画表現の發達については、

- 一才〜二才 錯画前期
  - 二才〜三才 錯画後期
  - 三才〜四才 図式表現前期
  - 四才〜五才 図式表現後期
- 期

- 五才〜六才 構成的表現期
  - 六才〜七才 写實的表現期
- 写實的表現期

に分類されます。

以上の分類からみますと、幼稚園における発達段階の位置は、心理的には空想の時代であり、絵画表現においては図式表現前期から構成的表現期の間にあることとなります。この時代における発達の特徴を次にあげてみますと、

1、図式的な表現である。

即ち、簡単な線描によつて、物の形を暗示的に説明的に表現する。

例えば、短形に丸を沢山つけ、煙突をつけて汽車にしたり、丸の中に小さな丸を三つ描いてお母さんだと説明したりする。

2、描かれている一つ一つに意味があるのであつて、一画面にたとへば三つの物を描いても、子供はこの三つの関係とか統一とかいうことは考えていない。

例えば、人のわきに人程大きなチューリップを描いても不自然を感じないもののがのである。

3、実物の通り、見える通りに描かないで、実物からの印象に基づいて頭の中にまとめられている観念を投出して描いている。

る。例えば、この時期の子供が図式的表現をすることや、家を抽へ場合、戸や壁にさざぎられていて実際には外から見えない電燈を抽いたり、電車を抽くときに外からは見えない乗っている人の足まで抽いたりするような、所謂透明描写とかレントゲン描法とか云われている表現をするのはこの例である。このような表現は未開人にもしばしば見られる。

4、子供独自の立場において、立体を平面化することや遠近感をつけることを工夫している。

例えば、机を囲んでいる子供達を描く場合に全部を寝たようにかいたり、道路を描くのに遠い所も近い所も同じ幅に描いている。これは、子供は一つ一つの物を常に最も描きやすい方面から描くだけであつて、移動視点法などとも呼ばれている。この方法は、古来からの日本画絵巻物などに現れた大和絵の遠近法や古代エジプト人の絵に用いられている。

5、以上の諸点からみて、この時代の子供の表現は非常に主観的・自己中心的であるとか、空想的であるとかいわれている。

6、この時期の子供は身体発達の状況からみて全身運動が活潑であるから、余り細かい仕事を長時間続けることが困難である。

即ち、小さな紙に抽くよりも、大きな紙や黒板や或は大地に思う存分抽きたがる。しかし、次第に手先が器用になり発育が休まるので、五六才頃には次第に細かい所まで抽くようになる。

7、この時期の子供は、かくことそれ自身に魅力をもち出来た結果については、まだそれ程関心を持たない。即ち、成就のいかんよりも表現活動そのものの喜びの方が大きい。

8、この時期の子供の表現は、知識にとらわれることなく、自分の思っていることを平直に表現する。そこに純一無雑なものがあつて捨て難い味わいを生ずるのであるが、幼児は必ずしもそれを自覚していない。

9、主観的・自己中心的であるこの時期の幼児は、他の作品を批判的に見る力はまだ発達していないから、ほんとうの意味の鑑賞は困難であろう。しかしよい作品を環境において、常にそれに親しませるこ

とは、よい経験を与える。

以上のようなことが云えらると思えます。

(B) 小学校教育に於ける図工科との関係

幼稚園は幼稚園独自の教育であり小学校への準備機関ではないが、やがて小学校へ入学する子供達であり、小学校教育を受け

る子供達でありますから、小学校第一学年に於ける図画工科の指導目標を充分理解し、その上に立つて、目標を定めることが望ましく

(第一表)

小学校第一学年の指導目標と指導内容

(小学習指導要領図工編)

指導目標	鑑賞	制作	工	素描	図案	図	色彩	色	画面	指導内容
1 児童の活動性と表現欲の満足とを兼ねながら、絵をかき、経験を積み、自己の表現に自信と自覚を保持させる。	1 環境にあるもの、美しさを対する関心を尊重する態度を養う。	1 身近に使用するために必要な表現欲と生活経験を積み、自己の表現に自信と自覚を保持させる。	1 粘土・土・紙・紙糊・紙の活用など、遊びの活動性を高める。切りにある道具を上手に使う。2 道具の活用を上手にする。	1 紙・粘土・土・紙・紙糊・紙の活用など、遊びの活動性を高める。切りにある道具を上手に使う。2 道具の活用を上手にする。	1 自然の美しさを表現し、身近にあるもの、美しさを表現し、自己の表現に自信と自覚を保持させる。	1 自然の美しさを表現し、身近にあるもの、美しさを表現し、自己の表現に自信と自覚を保持させる。	1 無彩色・原色・複色・混色の活用など、遊びの活動性を高める。切りにある道具を上手に使う。2 道具の活用を上手にする。	1 主要な色(赤・青・黄・黒)の活用など、遊びの活動性を高める。切りにある道具を上手に使う。2 道具の活用を上手にする。	1 児童の活動性と表現欲の満足とを兼ねながら、絵をかき、経験を積み、自己の表現に自信と自覚を保持させる。	1 児童の活動性と表現欲の満足とを兼ねながら、絵をかき、経験を積み、自己の表現に自信と自覚を保持させる。
1 児童の活動性と表現欲の満足とを兼ねながら、絵をかき、経験を積み、自己の表現に自信と自覚を保持させる。	1 環境にあるもの、美しさを対する関心を尊重する態度を養う。	1 身近に使用するために必要な表現欲と生活経験を積み、自己の表現に自信と自覚を保持させる。	1 粘土・土・紙・紙糊・紙の活用など、遊びの活動性を高める。切りにある道具を上手に使う。2 道具の活用を上手にする。	1 紙・粘土・土・紙・紙糊・紙の活用など、遊びの活動性を高める。切りにある道具を上手に使う。2 道具の活用を上手にする。	1 自然の美しさを表現し、身近にあるもの、美しさを表現し、自己の表現に自信と自覚を保持させる。	1 自然の美しさを表現し、身近にあるもの、美しさを表現し、自己の表現に自信と自覚を保持させる。	1 無彩色・原色・複色・混色の活用など、遊びの活動性を高める。切りにある道具を上手に使う。2 道具の活用を上手にする。	1 主要な色(赤・青・黄・黒)の活用など、遊びの活動性を高める。切りにある道具を上手に使う。2 道具の活用を上手にする。	1 児童の活動性と表現欲の満足とを兼ねながら、絵をかき、経験を積み、自己の表現に自信と自覚を保持させる。	1 児童の活動性と表現欲の満足とを兼ねながら、絵をかき、経験を積み、自己の表現に自信と自覚を保持させる。
1 児童の活動性と表現欲の満足とを兼ねながら、絵をかき、経験を積み、自己の表現に自信と自覚を保持させる。	1 環境にあるもの、美しさを対する関心を尊重する態度を養う。	1 身近に使用するために必要な表現欲と生活経験を積み、自己の表現に自信と自覚を保持させる。	1 粘土・土・紙・紙糊・紙の活用など、遊びの活動性を高める。切りにある道具を上手に使う。2 道具の活用を上手にする。	1 紙・粘土・土・紙・紙糊・紙の活用など、遊びの活動性を高める。切りにある道具を上手に使う。2 道具の活用を上手にする。	1 自然の美しさを表現し、身近にあるもの、美しさを表現し、自己の表現に自信と自覚を保持させる。	1 自然の美しさを表現し、身近にあるもの、美しさを表現し、自己の表現に自信と自覚を保持させる。	1 無彩色・原色・複色・混色の活用など、遊びの活動性を高める。切りにある道具を上手に使う。2 道具の活用を上手にする。	1 主要な色(赤・青・黄・黒)の活用など、遊びの活動性を高める。切りにある道具を上手に使う。2 道具の活用を上手にする。	1 児童の活動性と表現欲の満足とを兼ねながら、絵をかき、経験を積み、自己の表現に自信と自覚を保持させる。	1 児童の活動性と表現欲の満足とを兼ねながら、絵をかき、経験を積み、自己の表現に自信と自覚を保持させる。



- 自分のもっているもの、作ったものに、色を塗ったり、模様を描いたり、貼つたり彫つたりする。
- 自然物や身の廻りの物を利用して模様を作る。
- 美しい形や色の物を集めて遊ぶ。
- いろいろな色の名を知る。
- いろいろな色彩感を感じる。
- 適当にいろいろな色を使つて表現する。
- 色の区別をして使える。
- 気持ちよい色の配合や組合せをすること工夫する。
- 円・三角・四角等の簡単な形がわかる。
- 4、身近な造形品に関心をもち、
- 建築物・家具・玩具・日用品等の身の廻りの品物を興味をもつてみる。
- 身の廻りにあるいろいろな品物の好き嫌らがわかる。
- 調和のとれた形がわかる。
- 物の丈夫さや、質の良否がわかる。
- 気持ちよい色の配合や組合せがわかる。
- Ⅲ私の組の具体的指導目標

以上、絵画における具体的指導目標を一応設定してみたのでありますが、しかしこれは

あくまでも「一般的なものであつて、實際保育の子供達に根をすえた目標が設定されなければ当つては、更に幼児の實際・家庭の状況・はならないと考へられます。  
或は地域社会の実態等に基きつて、眞に現実をこころに、私の組（一年保育）の具体的指導を描かない子（第二表）

（第二表） 絵を描かない子

男女別	幼児名	入園前のクレーン使用	兄弟内の位置	描画に対する親兄弟の干渉	知能指数	性	行
男	K	使つていない	末子	時々みてあげる	129	男	離れずでも母親から一人でも出来た遊具の扱いがよい。金やヤリ遊びに参加せず、ほんやりかている。
男	M	使つていない	末子	時々みてあげる	128	男	校内に住み、隣りの子、無口以外全々友達の遊具の仲間に入れない。
男	T	使つていない	人中の番目	時々みてあげる	124	男	兄弟姉妹が多く、落着きが一応遊びの子をかまわれない。すぐ女の子をかまわたり、たいたいりする。
女	T	使つていた	末子	時々みてあげる	115	女	家にいる時は近所の小公園に遊びに行く。遊びを興つてかいてい
女	A	使つていた	末子	時々みてあげる	?	女	昨年中退したことがあつた。大勢の前で何かする事やお八つも一人一音も口をきかずに入園以來部屋に立って遊ぶわしやぶつてい







目標をたてる為に、幼児・家庭・地域社会・小学校入学児の実態を調査してみました。

(1) 幼児の実態調査

先ず入園当初の状況について

(a) 入園前のクレヨンの使用調査(父兄を通して調査)

(b) 入園当初の幼児の観察記録(教師)を行いました。(第二表参照)

その結果(a)については四十六名中十三名が入園前に於て全タクレヨンを使つていないことが解りました。これを百分率になおしてみますと28%に当ります。

(b) については、四月一杯絵を描きながらなかつた者は、男児三名女児二名計五名でした。更にこの五名については、その原因を極める為に第二表(b)のような事項について調査を行いました。これをみますと、五人の共通している点は、いずれも社会性に乏しいということです。即ち、男児K・Mの二名は遊びに参加することが出来ずいつもぼんやりと唯立つてみていますし、Tは一応仲間に加わるのですが非常に粗暴ですぐ女の子をかまったり友人をたゝいたりします。又、女児Uは家庭にあつては非常に小さい子の面倒

をよくみて遊ばせるのだそうですが、幼稚園ではいくら誘つても遊びに参加せずぼんやりみています。Aは昨年姉と二人で入園したのですがおべんとうやお八つが一人で食べられず姉にいやがられて中途退園してしまつた子

で、未だに一人で食べられず入園以来一言も云わず部屋の隅に立つていたりといつた所謂問題の児です。ところが、これら五人の子供達はAを除いて(絵合せや積木等)はよく出来ますが全タロを調こつていませんので指数を出

(第四表) 色 彩 調 査 (その一)

色名 (月別(女児))	色 彩 調 査											合 計
	赤	橙	黄	黄緑	緑	青	藍	紫	黒	茶		
4	男	13		8	2	7	13	5	7	12	12	11
	女	21	14	15	13	15	11	9	12	18	13	
5	男	15	3	6	5	6	12	5	6	18	12	
	女	20	14	14	12	11	14	7	10	22	12	
6	男	13	5	3	7	6	13	4	5	13	9	
	女	21	15	16	13	17	18	10	13	20	17	
7	男	14	0	5	6	4	14	9	5	13	13	
	女	22	15	13	13	15	15	9	6	17	17	
計	男	55	14	22	20	23	52	23	23	56	45	
	女	84	58	58	51	58	58	35	41	77	59	
合 計		139	72	80	71	81	110	53	64	133	104	

(その二)

性別	色別										
	一色	二色	三色	四色	五色	六色	七色	八色	九色	十色	
4	男	2	1	5	4	3	1	2	1		1
	女		1	3	4	4	5		2	2	2
5	男	3	6	1	4	3	1	2	1	1	
	女		2		2	3	3	7	1	3	
6	男	3	3	4	5	3	1	1	1		2
	女	1	1			1	6	7	3	3	
7	男	1	1	7	4	3	2	2	2	1	
	女		1	1	3	8	7		2	1	1
計	男	9	11	17	17	12	7	5	2	1	
	女	1	5	4	9	8	21	5	10	5	
合計	10	16	21	26	20	25	28	10	12	6	

しかねています。智能指数も普通で級の平均指数よりは寧ろ上位にある位なのです。以上いろいろ考察してみますのに、これらの子供達に一番欠けているものは情緒の不安定だと考えられます。即ち、家庭生活から幼稚園の

集団生活に入ることとは、幼児にとつて精神的にも肉体的にも非常に大きな生活の変化であつて、これら五名の幼児達は他の幼児に比して色々な理由からその切り変えが遅い為、情緒的に不安定な状態にあると考えられます。

次の幼児の絵の表現について

(a) 発達段階 (第三表参照)

(d) 表現内容 (同)

(c) 色彩 (第四表参照)

の三つについて更に調査を行いました。

その結果 (a) については、錯圖時代の者が男児に九名女児に四名ありました。更にこの錯圖時代の幼児を分類してみますと、線のみのなぐり描きは、男児三名、女児一名、画面の塗りつぶし描きが男児六名、女児三名、意味はわからないが輪廓の中にきれいに色を堅つている所謂象徴圖が男児に二名ありました。

(b) については三図の通り、乗り物・家旗・空等に興味がみられましたが、人物は殆ど描かれていませんでした。

(c) の色彩については男児女児共に赤を好んで使つて居ります。色数について、男児は三色、女児は六色で、女児の方が多色であることが解りました。

(2) 家庭の実態調査

家庭の実態については、第五表に示したような事項について調査を行いました。その結果、大体の者は家庭でも絵を描くこと、絵を

## (第五表)

## 家庭調査 (その一)

		たいてい	ときどき	ぜんぜん					
1 お宅のお子様は家にいる時も絵をかきますか。		7	38	1					
2 お子様は絵を描いている時お家の人がそばでみてあげますか		14	30	2					
3 主としてみてあげる人は誰ですか		父	母	父母	祖父	祖母	兄	姉	その他
		1	31	5	2	1	0	2	0
お ら 様 の 絵 に つ い て 主 と し て ど の よ う に 指 導 し て ま す か	(A) 描き始めから終わりまでみてあげる								3
	時々来てみてあげる								25
	完成作品だけをみてあげる								16
	全々みてあげない								1
	(B) 子供の描くまゝにたゞ黙つてみている								15
	絵本や手本をみて描かせる								5
	間違っている所や描き足りない所を批判したりなおしてあげる								12
	描いた絵をみて説明させ不足や間違いを思い出させる								3
	眼の前に物を置いてその通りに描かせる								2
	傍でたゞにここにこして出来上つた作品をいつも賞めてあげる								10
(C) 作品はお部屋に貼つてやつたり自分で貼らせる。								9	
きちんと纏めてしまつておく								9	
受持の先生のところにもつていく								2	
作品は子供の勝手にさせておく								24	
5 お宅ではお子様の為にどんな絵本を与えていますか	月刊雑誌	「キンダーブック」46「小学一年生」1「小学二年生」2「幼稚園」2「幼年絵本」2「幼稚園ブック」1							
	単行本	乗物19動物20童話12童謡10物語8その他5							
6 入園前にクレヨンを使っていましたか。	使っていた	33							
	使っていない	13							

## 家庭調査 (その二)

Ⅱ 父母の年令		
(年令)	(父)	(母)
20代	1名	5名
30代	24	33
40代	18	8
50代	2	0
計	45 (一名死亡)	46

Ⅰ 職業	
公務員	22(名)
会社員	11
商業	4
技術者	3
自由業	2
農業	3
工業	1
計	46

II 父母の教養		
(学歴)	(父)	(母)
小学校卒	15	18
中学校卒	13	26
専門学校卒	9	2
大学卒	8	0
計	45	46

IV 園児の家庭に於ける位置	
一人子	3名
末子	20
長子	6
その他	17
計	46

描いている時には親や兄弟の干渉を受けていること、しかも殆どが母親であることが云われます。指導については親の大半が多少の關心をもつていること作品の処理については殆ど関心が払われていないこと等があげられます。又、絵本の調査については、全部が絵本を購読しており、種類としては、動物や乗物の絵本が圧倒的でした。

③小学校入学児童の実態調査

V 兄弟数	
一人兄弟	3名
二人兄弟	8
三人兄弟	19
四人兄弟	7
五人兄弟	4
六人兄弟	3
七人兄弟	1
八人兄弟	0
九人兄弟	2
計	46

本年度三月に幼稚園を卒業して附属小学校に入学した子供の実態調査です。これは、実際に参観したり記録したりすればよかつたのですが、それが出来なかつたので、小学校第一学年担任の先生方からの報告を纏めることにしました。その結果を要訳しますと、

- 1、描くことには興味をもつている。
- 2、所謂「幼稚園画」といわれる概念的・固定的な画が多くて、この殻から容易に脱し難くその指導に骨が折れる。
- 3、絵画経験の少ない直接入学児童に比べれば、勿論表現力も豊かであり、表現内容も豊富である。

(4)地域社会の実態調査

地域社会の特徴をあげてみますと、

- 1、軍隊都市として発達した町で、軍人相手の店や面会人をとめる旅館や民家等が終戦後も僅かに影をとめ、学校が建つに及んで文房具店・本屋等が二・三ある程度で、商店街としての景観は殆どなく、神社内のマーケットがそれといえはいる程で町としての活気はない。

- 2、終戦後は住宅難にあえぐ人々が入り込み又引上げ者、戦災者・開拓者等も加つて人国は増加したが、その大部分は千葉・東京方面への勤人である。
- 3、交通機関としては、両口・銚子間を結ぶ総武本線が通り、こゝに四街道駅が附設されている。又最近、京成バスが汽車の時間を縫つて往来するようになった。
- 4、千葉大学教育学部分校を始め小・中学校等学校が多く、学校都市としての形態をもつている。
- 5、広大な下志津の原は戦後演習場から開拓地となり、引上げ者や元軍人等が開拓に当つている。
- 6、総武線を境として南の低地帯は、田畑で古くからの土着民が農業に従事している
- 7、澁粉工場や製糸工場等いくつかあるが、いずれも極く小規模のものである。

8、常設映画館・公園等の娯楽施設は全くない。

以上述べた様に所謂「町」としての景観は殆どなく、美的環境に乏しく、子供の生活に与える刺激は少い。しかし、家庭調査（その二）の職業調査の結果によれば、殆どの家庭が公務員・会社員の勤人であり、又千葉・東京への往来も容易であり、都会文化の流入はあると考えられます。又、春夏秋冬を通じて変化する広大な下志津の原を中心とする大自然の環境に恵まれております。

(5)私の組の具体的指導目標  
以上の実態調査に基づいて私の組の具体的指導目標を次の様に設定致しました。（第七表参照）

この具体的指導目標では、例えば「絵の具をこぼさないようにする」とか「仲良く道具を分け合つて使う」等の躰の面は除き、指導上の諸注意として別に上げること、しました。なお、この目標は、もとよりどの子も此の線まで到達させるといふものではなく、教師として一応この程度まで指導することを目標とすればよいのではないかというものであります。

(第七表)

具体的指導目標

- ①材料
- ②表現内容
- ③表現方法
- ④色形模様
- ⑤鑑賞

字期	具体的指導目標
第一期	<ul style="list-style-type: none"> <li>①・クレヨンを使つて自由に気持のまゝを表現する。</li> <li>・フィンガーペンで気持のまゝに伸び伸びと描く。</li> <li>・黒板・地面・大きな紙に思う存分に描く。</li> <li>②・花・木・人・家・乗物・地面・空・太陽等に興味をもつて表現する。</li> <li>・雨・雲・夕焼・虹等気象に興味をもつて表現する。</li> <li>③・一面面にいくつかの対象を表現する。</li> <li>④・色彩に好みをもつ</li> <li>・美しい形や色の物を集めて喜ぶ。</li> <li>⑤・絵本を喜んでみる。</li> </ul>
第二期	<ul style="list-style-type: none"> <li>①・ポスターカラーを使つて自由に伸び伸びと描く。</li> <li>②・月・星等天体に興味をもつて表現する。</li> <li>・昆虫・獣・鳥等動物に興味をもつて表現する。</li> <li>・果物や野菜等に興味をもつて表現する。</li> <li>③・一面面内の対象に關聯をつけてかく。</li> <li>④・混色に興味をもつ。</li> <li>・色々な形や色の物を整理したり並べたりすることに興味をもつ。</li> <li>・花を飾つたり、作品を貼つたりして、美しい環境を作ることに興味をもつ。</li> <li>⑤・他人の作品に關心をもつ。</li> </ul>

### 期 学 三 第

- ① ・色々な材料を使つて自由に表現する。
- ② ・社会の出来事に興味をもつて表現する。
- ③ ・人物に簡単な表情をつけることを工夫する。
  - ・時間の推移を表現することを工夫する。
  - ・立体感・遠近感を工夫して表現する。
  - ・グループで協力して楽しく描く。
- ④ ・適当に色々な色を使つて表現する。
- ⑤ ・作品に対して好き嫌いがわかる。

上述の実態調査でも明らかかなようにその発達段階は正に十人十色で、此に個人指導の重要性があるのであります。具体的指導目標に基づきながら個々を指導し、個々を指導しながら、全体をみつめるといふように指導して行くことが望ましいと考えます。

以上、絵画の具体的指導目標の設定について述べて参りましたがこれに基づき一年間の指導を通して具体的指導目標に対する検討がなされなければならないと思ひますが、その評価については後の研究に譲りたいと考えます。

(千葉大学教育学部附属幼稚園教諭)

### 予 告

#### 教育實際指導研究会のおしらせ

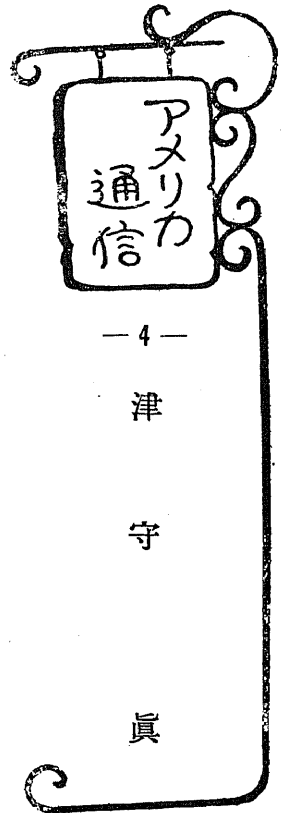
今年も左記要項によつて、教育實際指導研究会を開催いたしますから皆様多数御出席下さいませようお待ちいたします。なおくわしいことは次号でお知らせいたします。

期 日 昭和二十八年六月、四、五、六の三日間  
主 題 「基礎能力の伸長と教材教具」の主題の

下に、実地指導、研究発表、研究協議会  
講演など。

昭和二十八年五月

お茶の水女子大学教育学部  
附 属 幼 稚 園



アメリカ通信

- 4 -

津 守 眞

今日は、今月期の面白い講議のことを、お知らせしましょう。幼稚園ナースリーの主任のドクター・フラー Dr. Fuller が毎月期 Childhood Education という題で、極めて Informal なクラスをもつていますが、今月期は非常に面白い顔ぶれの学生が集まり、大変面白い議論をしています。これは大学院の学生を対象にしたクラスで、幼児教育の相当の経験と知識を前提としています。

若い男の学生等々、私を含めて九人ばかりのクラスで、又その上に、その中の五人まで Dr. Jone E. Anderson の発達理論のセミナーと一緒にやっている連中なので、議論が大へんはずみです。Dr. Fuller は最初から、自分は實際家で学者ではない。そしてそれを誇りにしている。と前置をして、クラスを始めましたが、極めて洞察に満ちた講議を始めました。そして、それが知らない間に議論になつて、二時間たつぷり、息もつかない位の熱心な雰囲気になります。大抵一時間つづ小さく区切られた講議の多いこの大学の講座の中で珍しいクラスです。

National society for the study of Education 1947 yearbook Part II, Early childhood Education and Reading assessment になつています。

この中の Jone のミネソタ大学 child welfare Institution の Director, Dr. Jone E. Anderson が、幼稚園の教育原理について、いはば最も新しい見地から短い、極めて要点を掴んだ論文を書いていますがこの数週間、それを中心にして、幼稚園の教育原理について議論してきました。

今日から問題を変えて、今日は大学院学生 Dena Becker がフレイベルの自伝を紹介し、Dr. Fuller が、恩物の実演として、Froebel の symbolism について考え、幼稚園の教育材料としての恩物ということを考えました。そして結論として Dr. Fuller が大変面白いことを云いましたので御紹介しましょう。

\* \* \* \* \*

miss Bryant, miss Hill 以来、幼稚園はフレイベルを手痛く批判し、専ら Progressive Kindergarten ということが叫ばれてきた。そして、新教育を促進させ

んがために、時に不必要なまでに、フリーベルの理論及び恩物が批判された。

さて、今になつて考えてみるに、現在使つている幼児遊具の中で、フリーベルの恩物のお蔭を蒙つていないものは殆どないのである。たゞ、大きな形等が考えられて使用法が自由になつたまでのこと。そして又現在教育を受けて幼稚園の先生になつて出ていく人達の50%以上がフリーベルの恩物を見たこともないというのが事実である。これ如何。

更に又、教育材料の心理学的検討という分野を見ると、これ又極めて資料が少ない。フリーベルは批判され、古いものはすべてけなされ、新が叫ばれて数十年、未だにそれに代る積極的方法が明瞭にされていないのである。フリーベルと、そして新とを結びつける試みがなされなくてはならない。しかし誰もなしていないというのが現状である。云々。」

\* \* \*

大変面白い事だと思ひになりませんか  
今迄二月期、Dr. Fullerの講義に出ましが、フリーベルのことに触れたのは今日

が始めてでした。

Dr. Fullerは、Mrs. Elizabeth Mearns Fullerで極めてBrilliantなcharmingな才媛です。

Dianeという十才の女の子があります。Child study in Elementary EducationをDr. Thesisでやつた人で、今月期は私のPaperのGuidance Professorになつてゐるので、特に興味も深いのでしよう。

私目下、NEAの古雑誌“Kindergarten Messenger,” “Kindergarten Review,” など漁つて面白く過しています。但し、これは、私の学校の要求のみに過ぎませんので、時間の不足に悩まされています。全くアメリカという國は忙しい所です。

講義を終えて、Dr. Fullerと、いろいろの話をし乍ら、フリーベルの恩物をおつかいで教室を出てくると、もう薄暮でした。

Dr. Fullerが、

「自分は今月期程、面白いクラスを持つた事はない」  
と言つていましたが、私も同感でした。

Child welfare Instituteの建物の後は鉄道線路になつています。そしてその後美しい夕焼雲が、紫色に映えていました。

Dr. Fullerが、

「あれを見ろ、木の葉が落ちてしまつたけれど、細かい木の枝を通して夕焼雲を見ると、日本の版画のようではないか」と言つて、しばらく立ち止つて、夕焼の空を眺めていました。

ダウンタウンのネオンサインが、インディアンが住んでいた頃も変りなかつたであろうと思われる、美しいミネソタの夕暮の空に映つて、光つたり消えたりしてました。

x x x x

隔週水曜日の午後三時から、地下室の幼稚園の一室で、チャイルドウェルフェア

のスタッフと、大学院学生とが集つて、コーヒーを飲み乍ら談笑し、続いて最近の研究を発表する会があります。今週は、此の夏、ワシントンで行われた心理学会の紹介を、ドクター・テンプリン、ドクター・ハリスが担当しました。



ついでに、此の、チャイルドウェルファ  
ーのスタッフの顔ぶれを御紹介しましよ  
う。所長は、Dr. Jone E. Anderson 一九  
二五年にミネソタ大学に、チャイルドウェ  
ルフエアーが、一部門として設置されて以  
来、ずっと所長をつとめて来た、アメリカ  
の心理学会の重鎮の一人です。多くの有能  
な学者が、ドクター・アンダーソンの下か  
ら輩出し、多くの有能な教授達が、その下  
で働いてきました。有名な、グツドナイフ  
教授はその一人で、数年前に、老令のため  
引退されました。乳児の部門で有名な、シ  
ヤリーの研究も、こゝで行われましたし  
タイムサンプリングの、オールソンの研究  
も、こゝで行われましたし、タイムサンプ  
リングの、オールソンの研究も、こゝから  
生れました。現在は、此の、ドクター、ア  
ンダーソンの下に、ドクター、ハリスが、  
青年心理学を中心とし、ドクターロフは統  
計学者として、又身体発育、運動機能の発  
達の専門家として、ドクター、テンプリン  
は、言語及び社会性の発達、ドクター、ブ  
ロッツエツトは異常児、ドクター、カミン  
グ両親教育、ドクターフラーは幼稚園及び

ナースリーの専門家として、学生を指導し  
又研究しています。勿論、此の専門分けは  
そうはつきりしたものはなく、子供の発  
達の研究ということが中心として、すべて  
が動いています。大学院学生は二〇名位、  
男と女の学生と半々位でしょう。此の水曜  
日の、ドクターハリスと、ドクターアンダ  
ーソンの会話が面白かつたので御紹介しま  
しよう。

ドクター・ハリスは、ワシントン学会の  
際、青少年労働協議会の委員の一人として  
参加しました。その委員は、ソーシアル・  
ワーカー、法律家、労働委員、学校の先生  
などから成つています。それで、それ々々  
の専門家が、それ々々の立場から、青少年  
労働の問題を論じるわけですが、ドクター  
ハリスが、非常に砕いた言葉で、児童の発  
達と労働の問題を論じた所が、或る一人の  
委員が、

「これは誠に有能な話だ、しかも心理学  
のように聞えない」

と、言つたそうです。それで、ドクター、  
ハリスが、

「心理学者は、他のグループの中に入つ

た時によほど気をつけないといかん、見  
方が違うから」

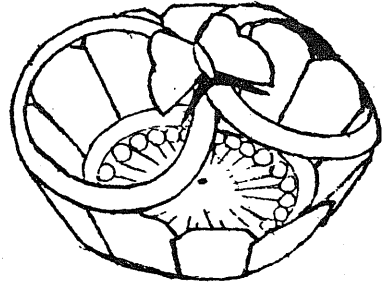
ということを言つて、結びました。それで  
ドクター・アンダーソンが云うのに、

「児童心理学者は、いつも子供の教育を  
考える時に、子供が自分自身で問題を解  
決し、創造してゆく事ができるようにす  
ることを教育と考えるが、他のグルー  
ブの人達は時に熱心の余り、何か子供のた  
めにしてやらなくてはならない、という  
気に押されてきつかりと子供の生活に枠  
をはめようとする。それでいつも心理学  
者は当惑する。何かはつきりした子供の  
生活の規則とか、方式とかを求められる  
から」

これで、その日の会合は解散でした。こ  
うして非公式な会合では、いろ／＼の人の  
忌憚のない意見が、思いがけない時に聞け  
るので、大変参考になります。此の水曜日  
の会は、私が出てから、もう十数回を重ね  
たわけですがいつもお知らせするのを怠け  
てしまいました。これから、又面白い事が  
あつたらお知らせしましょう。

× × ×

# 花のしり あしごと



(花かご・かめ・さゝ舟)

及 川 ふ み

先生や、お友達につくつてもらつた、風車や、コマや、くびかざりで一しきり遊んだ後は次第にたのしいおしごととして、幼児たちがおもちやを自分でつくれる様に進みたい。

## 花 か ご

作図の外円の一センチの部分は、花かごの手になるところであるから、その説明をして、花の色とちがう色にぬること。

花びらは次の三センチの部分であることをよくわからせて、赤や、かばや、むらさきなどすぎずぎの色にぬること、花の中心のしべは黄色であることなど、各部の色どりをよく理解してからぬるようにする。それには、つくり上げた二三種類の花かごを用意しておいてみせるとよい。

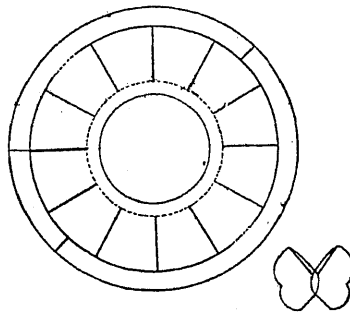
全部ぬり終ると、次に太い線の部分だけを外円から、次々ときるのであるが、幼児の缺の使い方は、まだまだ未熟であるが、そんな点には、あまりこだわらずに、幼児のつかつた缺のあとをよく残しておくことは、とくにその指導にあたって注意しておきたい。

各部を切りおわると、点線の部分を折りまげるのであるが、手になる部の一センチ半位

の点線は外えおりまげ、花びらの部分は内えおりまげる。手は外えおりまげた別の端同志を、一センチ重ねて糊つけにする。その四つ重なりの上に黄色い蝶や白い蝶などにぬつて、きりぬいた蝶をその上に蝶の胴の部分だけはりつける。

## 【工作図1】

$\frac{1}{4}$  縮尺

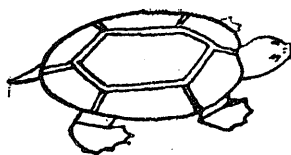


## か め

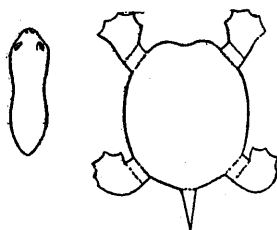
保育室にそろそろお玉じやくしや小亀などを飼育する季節も近づいてくる。亀の甲の形などは幼児が亀を毎日よく観ることによつてそ

【工作図2】

3/4 縮尺



1/3 縮尺



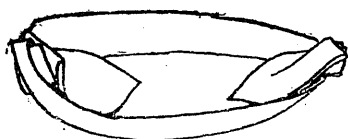
それぞれの表現が出来てくるから墨で、毛筆で甲らをかかすると面白い、又真黒に墨でぬつても面白い、足の点線の二つのおりこみで、簡単な立体観がつくところと、糸でつけた首が動くところにこの亀の面白さがあるのである。そしてその亀の子を、どういう様にして保育室で遊ぶかを幼児たちと一緒に考えるところよい。

床上積木で、かめの家をつくつて、新聞紙で岩や石をこしらえて、亀の子の休み場としてたりなどして集団遊びの材料としてもよいし又個人個人で、小さい空箱などで亀の家をつくつてもよい。

さゝ舟

さゝ舟は、ささの葉でつくるのが普通であつて、幼稚園で雨がりの水たまりや、小さい池などで、笹をとつてきては幼児同志で、ささ舟を浮かして遊んでいるのはよく見られる風景である。

自然の葉で作つた笹舟は、味のあるものであるが、しばらく遊んでいるうちに葉がまかれて水に洗んでしまうことが多い。これと今一つは大きいささの葉が少いのでささの葉のイミテーションを画用紙でつくるわけである。八つ切の画用紙を斜にして、出来るだけ大きい葉の形をつくつてその表、裏ともに、



2/3 縮尺

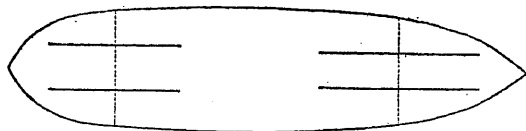
みどりのクレヨンで濃くぬる。両端の点線のところを内側に折りこんで、二つづつ切りこみをいれて、三つになつた中央を内にして、両端をさしこむのは、自然の笹の葉で作ると同様である。この画用紙の笹舟は、丈夫な作りとなるから、

水に浮んでいる間もながく、その舟の上に、簡単な作りのせんどうさんを乗せたり、帆をかけたりに遊べる。

この形の笹舟でなくても、幼児たちが自分で舟の形を簡単につくつて遊ぶとよい。要は水に浮かせて遊ぶことであるからこの部分もクレヨンを充分にぬつておくことである。

【工作図3】

1/4 縮尺



クレヨンでぬつたことによつて、水をはじいて、よく浮ぶことが理解出来るとこれから何を幼児たちが考へてつくつて遊ぶことになるかよく観たいものである。

かめの子、笹の舟などは作ることが容易でそれによつて遊びがながくつづくという点をよく考えさらに幼児たちが自分自身で、この種の外のおもちゃが作れるところまで、すすみたいものである。



五月の幼稚園

五月の保育

幼稚園……堀合文子

保育所……鈴木とく

年少組

年長組

堀合文子

主題

○子供の日

端午の節句として今まで男の子を主体にして来たが子供の日となった今日は、端午の節句を祝うと共に女の子も子供の日として、大人が祝ってやられたのしく一日を過ぎせてやりたいものです。  
 子供の日のおえかきをする。  
 鯉のぼりを作る。

○子供の日

主旨は年少と同じ。  
 子供の日について話をする。  
 子供の日のおえかき、鯉のぼりの歌をうたう。  
 子供の日になんだりゾム遊びをする。  
 鯉のぼりを作る。  
 子供の日のおえかきをする。  
 子供の日のおえかきをする。

子供の日のあつまりをする。

○遠足

遠足について今までの(家庭で)経験をいろいろ話合う。

遠足の歌をうたう。

遠足のリズム遊びをする。

遠足をするのに種々の注意約束を話合う(交通道德、公衆道德等)。

遠足にゆく。

遠足のおえかきをする。

○おもちゃ

おもちゃやを見学にゆく。

おもちゃの種類をあげてみる。

おもちゃを少しずつ作ってはためてゆく。

おもちゃをお店に並べる。

お店をきれいにかざる。

おもちゃのねだんを決める。

お店やさんごっこする役割をきめたり、その他約束を話合う。

おもちゃのうたを歌う。

おもちゃやのリズム遊びをする。

開店

(六月のはじめにかかる)

○遠足

遠足について話合う。

遠足のリズム遊びをする。

遠足の歌をうたう。

遠足をするのに種々の注意約束の話を話合う。

遠足に必要なものをつくる。

例えば屑入れの袋をつくる。各自が紙屑は仕末するよ  
うに。

遠足にゆく。

遠足にいつて反省、思出の話を話する遠足の印象画をか  
く。

○動物園

動物園を見学にゆく。

(動物園へゆかれなければ絵本でみる)

動物の絵、写真を飾ったりみたりして環境をつくる。

動物、動物園について話を話する。

動物の名前をあげる。

動物をつくる分担をする。

動物をつくる。

動物の柵や家をつくる。

入場券をつくる。

動物にちなんだ歌をうたう。

動物園ごっここのリズム遊びをする。

動物を並べて開園の準備。

お  
話

○小さな小さなおばちゃん

○牛と蛙

○こいのぼりと雀

○紙芝居

○幻燈

○人形芝居

これらの題材は適当に圖でえらぶ。

開園について話合う（役割をきめる）  
開園（六月のはじめにかかる）

○びよん太とがま蛙

○てんぐと平助

○五色の玉

○紙芝居

○幻燈「春の花」

○人形芝居

観  
察

○五月人形

幼稚園になれば、話合い程度でよい。

美しい人形として、昔こんな道具を用いた程度のお話を

する。

○藤の花

花の色、房のようになる、棚にする等話合つて観察する。

○鯉のぼり

幼稚園にたてたのや、各家庭の鯉のぼりをみて話合う。

鯉の大小、風にふかれておよぐ様子等よく観察し、手技

でつくつたり絵にかいたりしてみる。

○蝶々と青虫

このごろになると蝶がひらひらとぶ。ひらひらとぶ様子等よく観察して話合う。リズムで自分達も蝶々になつてとんでみる。菜の葉っぱに青虫をみつけたら、蝶々の幼

○五月人形

年少組と同じ。

○藤の花

全体からみた美しさ、一つ一つの花の美しさ、花の形、房のようになっている。花がおちると藤豆といつて長いお豆が出来る等観察する。

○鯉のぼり

年少と同じ

○クローバー

ちよつとした草むらにも必ずある位のクローバーはお子さん達にも親しまれているので花たばのようになり首かざりを作つたり種々遊び相手になつてくれ。る四つ葉をさがす等といつてさがしたりして観察してみたい。

○けしの花

音楽  
リズム

○乗物  
虫である事を話合つてみる。瓶に入れてその変化を毎日観察するのもおもしろい。

遠足にいった時に、用いた乗物、見た乗物について話し子供達の知識範囲で観察させる。あまりくわしく話すと却つてよくないので子供らしい観察にとどめておく。

○子供の日の歌

○鯉のぼり

○鯉のぼりのリズム遊び

鯉になって曲にあわせ風にひらひら泳ぐ動作をする。

一組、鯉のぼりを上げる表現、二組鯉が泳ぐ動作の表現

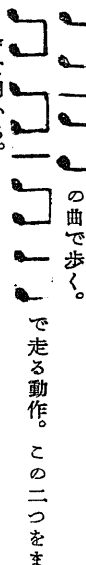
○遠足のリズム遊び

遠足にゆく所、目的地でおべんとう食べたり、遊んだりするのを曲に併せて表現する。

○かえる

○「音どおり歩く」とゆう事をはじめめる

の曲で歩く。



で走る動作。この二つをまぜて用いる。

○ハンドカスタを用いる。

体と同じ、四分音符から、八分音符をはじめて、やはり音に併せて音どおりたたく所からはじめめる。一つは曲を

やわらかい花びら、あざやかな色、けしぼうずのかわいさ、つぼみの特徴、こまかい毛等絵にかいたり、部屋にかざつたりして観察させる。

○蟻

蟻が庭の一角で活躍する季節になった。二三匹の蟻を水槽の様な所に砂と土を入れて菓子屑等入れるとトンネルを作つたりして蟻の活動がよく観察出来る。

○子供の日の歌

年少組の時の復習

○鯉のぼりのリズム遊び

年少組の時の復習

(表現の仕方のちがう程度でよい)

○遠足のリズム遊び

○何をつくろう

○あなたのまね

○あなたのまね

○ハンドカスタ・タンバリン二つの合奏。

年少の時こゝまで使う事が出来たから二つでよくあわせる事をやる。常にすべての人がかわるがわる使用していつもいつも同じ人しかししないとゆう事なくやる。皆が出来るようにする。

○レコード

静かに聞くとゆう事も年長になつて約束してみる。今ま

製作  
お画か

ひき好きに但し曲にあわせてたゞかせてみる。  
○レコードを聞く事をはじめ。

レコードは別に何とゆう事決める事はないが同じものをその日だけでなく何度かくりかえしてかけてよく、拍子のとれやすいものは拍子しながら、又あるいてみたりして動作に移してきいてみる。

○金太郎さんの立絵づくり。

○鯉のぼりづくり。

○遠足の時の屑入れ袋。

新聞紙で袋をつくり、好きな絵でもかゝせる。

○おもちゃの玩具づくり。

簡単なものから各自好きなものをつくり、ためておく。年少では印刷したものをを用いる。少し出来てから話合つて、たりぬものをたしてゆく。

○おもちゃのねだん書き。

○おもちゃの店をかざる。

看板、のれんや幕も紙で紅白にぬって美しくかざる。

○お画かき(自由)

○えのくの絵(自由)

○切紙(自由)

○指絵

では動作につけて聞く事をしたが聞くとゆう態度で聞く事をはじめ。

○鯉のぼり

年少と違い鯉等は印刷したのでなく自分で画いたがよい。

○遠足の時の屑入れ袋

新聞紙四分の一の大きさにして紙のみ与えて、自分で工夫して袋にさせる。

○動物園の動物づくり。

画洋紙でつくるもの。

空箱を利用してつくるもの。

紙粘土でつくるもの。

それ／＼適当な材料でつくり、印刷したのもよいが自分で達すきにつくらせるのもよい。

○動物の家、柵をつくる。

その動物に応じて家なり、柵なりにして家でも簡単なものでよい。

○動物園入場券づくり  
柵もなるべく子供達に工夫させてつくらせたい。



<p>よき 習慣</p>	<p>健康の 習慣</p>	
<p>○よばれたらはつきりおへんじいたしましたしう。  ○前にお友達がいたらおしのけないで順番をまちましよう。  ○仕事の後の紙屑はちゃんと仕末しましう。  ○遠足の時おかしの紙はやたらにすてないようにいたしましう。</p>	<p>○五月身長・体重測定  ○身体検査      { 内科     { 眼科     { 耳鼻科  ○検便  ○おべんとうはよくかんでたべましよう。  ○おべんとうがはじまるので、食前食後のうがい手洗をよくいたしましう。</p>	
<p>○廊下はなるべくはしらないようにしましう。特に用事でゆく時はちゃんと歩いてゆきましよう。  ○ぬいだ上衣はそのまゝにしないで、かけておくかちよつとたたんでおきましよう。  ○あそんだ後仕末はいわれなくてもちゃんとするようにいたし</p>	<p>○五月身長体重測定  ○身体検査      { 内科     { 眼科     { 耳鼻科  ○検便  ○遊んで汗ばんだ時は自分で上衣をぬぎましよう。  ○おべんとうはのこさないようにいただきますしう。</p>	<p>画洋紙に動物の絵などかいた切符にする。  ○動物園開園の準備      動物を相談して配置してかざり、入口、出口の看板をかいたり、簡単な装飾をする。  ○お画かき      { 自由     { 動物の絵  ○えのぐの絵      { 自由     { 動物の絵  ○切紙(自由)</p>

## 五月の保育所

鈴 木 と く

<b>年中行事</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○憲法記念日</li> <li>○子供の日</li> <li>○身体検査</li> <li>○遠足</li> </ul>
	<p style="text-align: right;">ましよう。</p> <p>○年少に同じ。</p> <p style="text-align: right;">○年少に同じ</p>

年少の、特別な幼児を除いて、殆ど、新しい環境になれ、大勢の友達と過せる機になつたこの月は、いよく保育のコースも順序立て、進み始められる時です。

行事主体になりがちな保育案から、本当に幼児を観察して、発達の状態を土台とし望ましい発達段階に到達出来る様、彼等の興味と要望を起させ、充して行く様な案を立てる様お互に勉強し合いたいものです。

### ◎各週のメモ

#### 第一週

- 子供の日。前日に五月生れの幼児の誕生会と一緒に、子供の日を祝ひましよう。
- 児童福祉週間がはじまります催しへの参加は、幼児の幸福を基として考えたいと思います。大人福祉幼児酷使週間にならぬ様保育もやり方を考えましよう。
- 給食を通して、好き嫌いの調査を実施してみましよう。
- 一日の保育プログラム(春と秋の分)を決定しましよう。

#### 第二週

- 休憩と、午睡のための準備行動を始めましよう。
- 体重測定の日を決めましよう。そして、衣類の着脱がどの程度

に出来ているかみましょう。

○日光浴の準備を始めましょう。

### 第三週

○手をつないで近所を散歩しましょう。列から勝手に飛び出さない練習。右側を歩く事も覚えましょう。

### 第四週

○お母さんと一緒に、又は、年令別のクラスで、近い所に園外保育を計画しましょう。

○集団行動の場合に、命令や、きまりに従う様、納得させましょう。

第三か第四週に、母の会の総会をしましょう。

### ◎各年令について

保育所の性格を、その事業の上に、しつかり握っている所は、概して一年保育児は少いと思えますが、現在の過半数は、一年保育児を多数入所させているのではないかと思はれます。前者は、過去一年の発達経過がわかっていますから、保育案を立てるのに大体の見当はつくと思えますが、新入の五歳児はどの様なことがどんな風に出来るのか全然わからないと思えます。四月中に、保育園と云う集団世界に順応する事を主体にして来たのですから、五月には、能力の度合を何かにつけて発見して行く様な保育案のたて方をしなければいけないのではないかと思えます。ですからなるべくやさしいものを、保育内容としてとり入れる必要がありますでしょう。

四歳児は、新旧、半々ですと、色々な事を観察して行く上による

しいのですが、この組は、一学期中、三歳児の時の生活経験を整理し、高度な所へ行く為の練習期間となるのではないかと思えます。例を云えば、三歳児の時に歌った同じ鯉のぼりの歌でも、この組では皆もきいて美しく、歌う人も楽しく、と云う風になりましょう。

ですから、三歳児の保育案にとり入れた事が、もしそのまゝ、とり入れられたとしても、目標が何処にあるか、はつきりしていればよろしいので、同程度で異種類の材料が、豊富にあつてであれば、それにこした事はありません。新入の四歳児が、多いとすれば、矢張り材料を与えた、自由保育、或は一斉保育の中で、個々の様子を見て行くべきだと思います。

何処かの、どなたかの立案なさった保育案の、どれが、どの様に私の組の幼児に与えられるかを見きわめるためにも、この事は必要です。

一、二歳児は、仍くお母さんにとつて、実に、足手まといになるのですが、その年令を扱ふ所が、全国的にみて少い様ですから、それはおいて、三歳児について、すこし委く考えてみたいと思えます。

先に、各週のメモの所で、一日の保育プログラムを確立することを記しましたが、三歳児にとつては、この一日の保育プログラムが保育案の土台となるものであることを、理解して頂き度く思います。

この年令は、殆ど、生活のさせ方と、健康の為の配慮が、保育案の中心となつてい、と思えます。

三歳児の、一日の保育プログラムを立てるにしても、本当は、いろ／＼な家庭調査が必要となるのだと云う事だけ、頭に入れて、四月中、保育所になれさせる期間に、ノートの端に、その時間

くのメモをしておきましょう。四月にそれが出来なかつたら五月の二週間位をそれにあてましょう。

○朝何時に登園が終つた。登園した子に対して、どんな事をさせたか、それが、無理か、否か、又生活として、何をさせるべきか等。

○用便の習慣は、いつ、どの様にしてつけるか、

○集つてゐる時間は、何分位が適當か、前後の準備時間をいれて、何分とればよいか。

○朝のミルクは何時頃が適當か、どんな風にして飲ませたらいいか。

○午前中の何時頃、疲れた様子が、どんな風にはれるか。

○どの様にして、休憩を、何分位とらせたらいいか。

○食事のためにどの様な、準備と、どんな時間の配慮をしたらいいか。

○食事のあとしまつを、三歳児は、どの程度にそして、大体どれ位の時間をかけてしたらいいか。

○午睡のための準備、午睡の時の衣類の着脱の時間、睡眠の時間をどの様にきめたらいいか。

○おやつとの時間と、おやつが済んだあとの帰宅迄の時間を、どの様にするか。

○午前中の遊び、全く自由なもの、何か目的をもつて、一斉に集つてするものと、どんな時間を割ふつたらいいか。

○午後、もし遊ぶ時間があつたら、それは、どの時間に、どんな風に遊ばせたらいいか。大体これらの事を、頁を別にして、その日、その日の状態やら、気のついた事を、記録して行きますと、一応、わくの中に入れて、一日のプログラムがたちます。それをのみこんで生活をすゝめて行きますと、一日が、長くてしかたがない等ということがあります。

次に例としてあげます一日のプログラムは都会の下町の保育のものですから、そのまゝ適用出来ない所がある事は勿論ですが、何かの参考になればよいと思ひます。

### ☆三才児一日のプログラム☆

時間	主な生活	生活の内容	生活のさせ方	保育の心づかい
午前七時	登園はじまる	挨拶・視診・家人との連絡・持ち物をきまつた場所におく	履物のしまつを一人でする。保母や、お友達に声を出して、お早うをする。手伝われないで、持物をしまつする。	清潔と、整頓、遊びの楽しい雰囲気をつくつておく。玄関で明るく迎える。表情、顔色、元気が等をすばやく視る。所持品の始末のし方をそつと見とおく。

八時	自由な遊び		
九時	登園終る 朝のミルク	朝の音楽をきく 鼻をかむ、手を洗う あとしまつ	他人の迷惑にならぬ様にきく。 こぼさない様に飲む コップを一定の場所に、自分で片づける。 あそびにうつる前必ず用便をする。
九時 十五分頃	あそび 集会或は一斉保育、或は自由保育	用便 絵画、製作、リズム運動、歌う、体力を用いる遊び、お話をきく。 絵本を見る。散歩(観察も含めて) (注意) この時間の中で之等全部をするのではない。	あそびにうつる前必ず用便をする。 短時間でも全員で一緒にいられる様に。 自分から進んで遊びを選択する 自分に出来る丈の力を出させる 保母の手を加えない。 他の遊びへ移る時は、今迄のものを片づけてから移る。
十時	休憩のしたく	着物のほこり、手足のよごれを清潔にする。 静に真座の上に仰臥。	緊張感をほぐす様に、静な感じの音楽をきかせる。 自分達で遊んだものは自分達で最後迄片づける。
十時 三十分	休憩、(十分から十五分位)	真座のしまつ。 処定の場所にきちんと用便、と手洗い、うがい、鼻かみ等	鼻のかみ方、手の洗い方を最初から念いりに指導する。ミルクの嫌いな幼児も飲みたくなる様な心づかいをする。 長時間の集合にならない様に。 自分から興味を起す様に保育材料を適宜配置する。 助力を求めたくなる様なものを扱わない。
十時 四十分	遊具の片づけ方		休憩のために束縛される感じを与えない様、全体を休息の雰囲気にする。 はげましたり、ほめたり、片づける事も、大切な仕事のひとつと感じる様に。 順番にする事と、よごすと他の人が気持わるがる事をしらせる様な
十時 四十五分	屋食の準備		
十一時			

食事

食器に主食をうつす、給食のおかずがついた食卓から食べはじめ

午睡の準備

弁当の包を自分でほどく、カバンとハンカチのしまつを自分でする。  
お友達におかずがつく迄待つ。  
よくかんで食べる。  
箸をつかう。  
当番をする。  
食事のあとしまつ(食後のうがい)

弁当や毛布を運んで敷く。  
着換えをする。  
用便をし足をきれいに  
するお休みなさいの挨拶をする。

手の洗い方がいのかたを、きちんと、ふざけないでする様に。

最初からしまつのし方をきちんと指導する。

新聞紙、ハンカチをたたんでしまはせる。

お箸、食器をきちんと揃えておく。

箸の使い方を正しい持ち方の方向えむかはせる。

三才児に出来る丈の事を当番でさせる。

こぼしたものは自分でひろう。弁当箱を包んで自分の場所におく。

自分の物だけでなく、お友達のものも運ぶ。

自分でぬぎ、自分でたゝむ。足を自分でふいてきれいにする。

心づかい。

手洗いや、うがいの時、余り長い時間待たせない工夫をする。

食事を楽しく感ずる様に清潔だと云う感じを深める様な工夫。

こぼさないで食べられる様な心づかい。

食事の作法を無理なく習慣づけられる様な毎日の保母のかわらぬ心やり。

エプロン、三角布、お盆、台ぶきん置等に楽しい工夫を。

大変なものは手伝いながら最後まで替わせる。

なるべく一テーブルに揃って御馳走様が出来る様に。

布団の清潔についての心づかい。

衣類について清潔、きやすきの点しらべて母と連絡する。

一日全部を記しますと頁数もありませんから午後の方は、こんな風な調子で考えて頂く事にしましょう。

之は、もつと細に生活の内容や、生活のさせ方を書きこむ事も出来ませんが、之を土台にして、五月——八月、九——十二月と云う風に「内容と」「させ方」を、發達に依じて立案すれば、カリキュラムになりましょう。

五才児四才児の組にも、多少の時間のづれがありますが、各年令の一日の保育プログラムは必要です。そして、時間のづれを、どの様にスムーズに運ぶか、部屋数も少く、場所も狭い所では、年令層に無理をさせない事を主体に考えますと、保母同志が、うまく連絡をとれなければなりません。

三才児の遊びについては、この月も、この年令だけ集めて、四、五才児の様な遊び方は出来ないと思います。材料を豊富にして、各種の経験を、自由な形でさせている中に、方向を見出すと云う方法をとる様になりましょう。描く事、折紙する事つくる事、粘土をこねる事、歌うこと、音楽に合せて体を動かす事等、とても三才児一組だけ集めて（十人位でしたらともかく）一人の保母で、覚えさせようと云う保育のし方は出来ません。

新しい事を、次々に教えなければ悪い、する事がなくなると考えずに、同じ様な遊びを繰返している中で、環境設定を高度な方向にむける様な、予定はたて、おいた方がよいと思います。五月はこの意味で、九時半頃から十時半頃迄の保育内容について、遊びの種類遊び方、遊ばせ方の土台となるものを見出して行きましょう。

保育所で、保育と併立して重要な事は、母親の育児思想の啓蒙でしよう。それと共に、一般的な教養も高めて行く事もしなければなりません。五月は、子供の日、等あつて、この為のよいきっかけがつけれます。保母として心にかけていたい母の会の方向は、

○経済的援助団体でない事

○保育をよりよく効果あらせる為に、保育への理解を深める工夫を深める工夫をする事。

○自主的な考え方に乏しい母親の集りを、自主的に活動させて、自分の子供だけでなく、地域社会の子供の事を考える様な方向にむける事。

○長い期間、根気よく、母親と立むかふ覚悟が必要な事。効果のみあせらない事。

○母親と云う、子供に対する感情の特殊性を理解し、又個々の経済的、社会的環境を理解し、同情する事から始つて、相互の理解を深め、そして目的に近づく様に工夫する事。

なるべく、園長天降り式の会の組織の方法でなくしたいと思ひます。

この子供たち

(1)

イーデイス・ウオートン  
松原至大 作  
譯

訳者の言葉

イーデイス・ウオートン夫人は、千八百六十二年一月にニューヨーク市で生まれた最も異色のあるアメリカの女流作家である。アメリカ人として尊敬される家柄に人となつて、幼い時からほとんど家庭での勉学によつて、フランス語、ドイツ語、イタリア語まで体得した。十一歳で最初の小説を書いたが、二十三歳の時に、ボストンの銀行家エドワード・ウオートン氏と結婚して、それから作家生活に入った。千九百一年に第二作品集ともいうべき「敵正な実例」を發表した時、当時精細な心理描写をもつて、英米の文壇に独自の境地をひらいたヘンリー・ジェイムズ（他界する一年前に、アメリカからイギリスへ帰化した作家）の認めるところとなつた。しかも彼をして「この可憐なイデイーに、私の知識と経験との純粹なエッセンスを注いでやりたい。」とまで推称させた。

千九百六年には、パリで欧州大戦に出会つた。この時夫人は、書齋を開放して、工場閉鎖のため失業した婦人労働者に職を与えたり、ベルギーから難を逃れてきた六百人も孤児をひきとつて世話をしたりした。このため、フランス、ベルギーの両政府は、夫人に勲章を贈つてゐる。その時分の体験は「戦うフランス」(千九百十五年)、「アルヌ」(千九百十八年)などに描かれている。続いて千九百二十年には、「清浄な時代」を公にして、ビュリーツァ文学賞を勝ちえた。

本号から約一年にわたつて、拙訳を大眼にかけることとなつた「この子供たち(原書名ザ・ナルドレン)」は、千



九百二十八年の作である。巻頭の扉には「セント・クレアにいる私のよき聞きてたちに」と記してある。夫人は教養時代の大方を、ヨーロッパで送りはしたが、心はいつも母国と共にあつた。そして端正な人柄にふさわしく落ちついた眼は、いつも厳正にアメリカを批判している。「この子供たち」も、その大きな収穫の一つである。アメリカばかりとは言えないが、富裕な男女が自らの軽率のために、いかに賑々として、かげがえのないベター・ハーフを失いつつあるか。その間に生れた多くの子供たちが、母を讃え、父を讃え、いかに純真なたましいをそこなわれつつあるか。夫人の鋭い心理描写の筆は、私どもにも大きなものを与えてくれる。申し上げるまでもなく、紙数の都合で全訳することのできないのは残念であるが、作の精神は傷つけない心組みである。

夫人は七十五歳で、フランスで他界された。その遺産は、多くの慈善団体に寄附されたが、その一つとも見られる数多い手紙のコレクションは、エール大学の図書館に送られた。しかしそれは、千九百六十八年までは、公開されないであろうと伝えられている。

マーティン・ポインが乗っている大きな定期船が、アルジャヤス湾（北部アフリカのフランス植民地アルゼリア港があるところ）にはいつて、ひき舟がそのまわりに群つていた。ポインは、プロムナード・デッキで、大勢の一等船客が、先を争つて舷門へ出てくるのを見おろしていた。人々の顔は、無意識の中に上を向いているので、顔を検査しているようなものであつた。

「話し相手になりそうなのは、ひとりもないいつもと同じことだ。」

人によつては、旅行をして、思いがけない幸運に出会うものもある。新しい友だちができたりする。例えば、アーティンの大伯父エドワードなどは、そうである。いつも運命の神から、面白めぐり合せのヒーローにされていた。アメリカの各地を、まだ不運な巡業で暮らしていた時分のラシエル（フランスの有名な悲劇女優）に会つたとか、ジュネーヴ湖畔で、ラスキンに会つたとか、チャッツワース（英国ダービーシャーにあるデヴォンシャー公の領地で、昔スコットランドのメリー女王が幽閉されたところ）の邸宅で、監理人の説明を聞いていたら、思いがけなく当時のデヴォンシャー公に会つたとかというのである。しかもラシエルには、その後あのポストンでの歴史的公演の第一夜に、前座席に入れてもらうようになったり、ラスキンには、ヴェニス

で一月ほどいつしよに暮そうと誘われるようになり、デ公には、その邸に泊るようになるといわれるようになった。

だが、ボインの場合はちがつていた。これまでも随分旅行もしたし、それに土木技師の職柄から、世界の果てまでも行つて、なにか面白い目に会いたいとは思いつながらも、そんな経験は、一度もなかつた。人間四十六歳にもなつて、そうしたことに出会わなければ、もう永久に機会はこないであらう。

「これも、ことによると、自分の鼻の格好のせいかもしれない。」

この日の朝も、ボインは、船室でひげをそりながら、このように独りごとをいつたほどであつた。問題の鼻は、たしかに冒險的な格好はしていない。それは他人のことにまでかかずらうほど、突き出てはいなかつたし、その上についている眼も、ひどく両側にひろがつて深くくぼみ、用心深かそうな、うす明るい灰色をしていて、鼻の加勢などは、しもうにも思えなかつた。

「平々凡々。せめてこの航海中に、船室をひとり占めでもできれば、見つけものだ。」この先、まだ二週間というものを、さびしく送らなければならないと思いつながら、ひとり静かに考えこんだ。

「考えてみると、もう五年も彼女に会わない。」ボインは、バンドのゆるんだような頼りなさであつた。

ふとひとりの若い婦人が——というよりは、ほつそりとした少女が眼についた。その少女は、丸々とふとつた、血色のよい幼児をおぶつていた。それは、やせた少女の肩では、こらえられそうもない、重そうな子供である。でも、眠そうなその子の顔に向けられる少女の目には、いかにも気づかわしげな様子が浮んでいて、それが思わすも、ボインに嘆声をもらさせたのである。

「ほほう、もしおれが若かつたらなあ。かわいいそうに、あの子供は、重荷すぎる。子供部屋から、すぐにでも嫁入りをさせられたんだらう。わからずやもあるものだな。」

その若い顔の持ち主は、重荷にこらえられず、船腹に立ちどまつた、しやがんでしまつた。きちんと帽子をかぶつて、ヴェールをかけたひとりのナースが、いたわるようにその婦人の肩に手をやつたが、彼の女は、なおかたく幼児をおさえていた。するとナースはかがんで、そばにいたジブシーの子供でも着るような、はでなオーヴァを着た、赤い髪の、四歳か五歳かの女の子を抱き上げた。

「おや——もう一人いたのか。こりや、野蠻だ。かわいいそうに——」

ちようどその時、船のストワードが来て、椅子をデッキのどの辺におくのか、ボインにたずねた。ボインはそれをきめて行って、ふとかたわらを見ると、すぐ隣りに「クリフ・ホキータ人」という札がつけてあつた。

クリフ・ホキータ、なんというおかしな名であるう——だが、よく考えてみると、ボインは何年か前に、これと同じ名を見ておかしいと思つたことを思い出した。なんだ、あの男か。思えば、自分は随分永い年月を、世間から遠ざかつていたものだ。土木事業にたずさわつてから、アルゼンティンを振り出しに、オーストラリアへ行つたり、大戦後にはエジプトへまで——ほんとうに、ニューヨークの社交ダンスから遠のいていたのだ。クリフ・ホキータの名を見て、すぐにもあのハーヴァード時代の同級生を、有名なニューヨークの大金持ちになつた赤顔の、シカゴ男を思い出せないとは。

この男は結婚してから、リッツ・ホテルと、馬力の強い自動車などに熱中して、世間で知られていた。たしか彼は、ステイム・ボートも持つていたころ。それはとにかく、妻は持つていた——ボインは、すべてのことを思い出した。あの男は、十六、七年前に、ニューヨークのマーヴィンという美娘と結婚したはずである——ジョイス・マーヴィン——この娘とは、ボインもハーヴァード卒業後、間もない一冬を、隔つたり、冗談をいつたりしたことがあつた。彼の女は婚約ができた時、ボインにも通知をよこして、同封の写真には「マーティンさん、さようなら」と、走り書きがしてあつた。彼の女は、ことによつたら自分のことを……とボインは思つていた。だが当時の彼は、そのようなことを確めるのには、あまりにも貧しかった。

「あの人は、少しも變つてはいない。美人というものは、驚くほど變らないものだ。それにしても、おれのことなど覚えてはいない。」こう思うとさびしくもあつたが、また心安くもあつた。どつちにしても、今度は十分に観察することはできよう。そして結果がいけなければ、自分の椅子を、ほかへ移すまでだと思つた。

定期船は、虫のようにたかつていたひき舟や、はしけの群をふるい落して動いた。東へ向つて進んだ。そこには、真青な大きな水平線がひろがつていた。ボインは、一冊の本をとり上げると、帽子を鼻の上まで下げて、ゆつたりとデッキ・チェアの中に身体をのばして、ホキータ夫人の出でくるのを待つていた。

「これでよくつてよ——ええ、これでいいと思うわ。」ボインの近くで、笛のように子供っぽい、少女の声がした。彼が振りかえると、二、三歩はなれたところに、ほつそりとしたあの少女が、幼児を重そうに抱いてくるのであった。

少女はちよつと立ちどまつた、ならべてある椅子を見て、ストウワードに会釈をすると、そのまま上等客室のドアの中に消えた。少女が立ちどまつた瞬間に、ボインは・小さな青い顔と、不安そうにしかめた眉と、細い褐色の眼と、ちよつと刺戟を与えてもすればすぐに笑い出しそうなるまで赤い唇を見た。顔が美しいとか、美しくないとかいう考えはおこらなかつた。顔の中には、いろいろな意味があらわれていたのである。

少女が船室にはいると、しつかりした早口で、こういうのが聞えた。

「ナニーさん、チップはベンガーを連れてきたの。だれがテリーといつしよに、ここへはいつたの。」

その時、ストウワードが見事なスーツケースを二つと、いく枚かの毛布を持つて、

「失礼いたします。あなたさまのケビンに、新しいお客さまがお見えになります。」といつて、ボインの前を通つた。

ケビンのドアのところに、ひとりの少年が立つていて、落ちついた眼で、ボインを見ていた。

「オーライ。これでいいよ。」と、少年は静かにいつた。十一歳ぐらいにはならうか。年の割には背が高く、ませていた。身体が丈夫そうでないことは、その声でもわかつた。きちんとしたイギリス風の小学生の服装をしていたが、コスモポリタンらしくつた。あまりにもちがつたたくさんの文化、もしくはあまりも多くちがつたホテルになじんだばかりに、それでみがかれて、しかもすれているかのようにあつた。少年はボインを批判でもするように、それでも親しげに見つめて、「ぼく、ここにいらんです。」と言つた。

「君が。ぼくは、君のおとうさんがいるのかと思ひましたよ。」

「ぼくのおとうさんを知つてますか。」

「知つていますよ。でも会つたのは、よほど昔だから、ぼくのは、恐らくお話ししたことはないでしょう。」

ホヰータの息子は、しばらく考えていた。

「でも、ぼくたち、おとうさんといつしよになんか、いたことないんですもの。」間ちがつたことは言いたくないとでもいうように、少年はいった。

少年と同じ年、同じ背だけではあるが、青白い美しい顔に、もつと赤味をおびたひとりの少女が、そこへはいつてきて、少年と片腕を組み合せた。

「わたし、方々探してよ。ジュデイスさんが探しといでつて言つたわ。」

「ううん、ぼく、ここにいたんだよ。このおじさんと。」

その少女は、二重まぶたを上げて、二つの大きな上品な灰色の眼で、ポインにあいさつをした。それから、けしのように赤い唇をつぼめて、少年に言つた。

「まだ二週間もよ、テリー。我まんできて。」

少年は顔を赤くして、腕をひきはなした。

「黙つといでよ、ばか。このおじさんは、おとうさんの先だちなんだよ。」

「まあ、そうかしら。」少女はつぶやいた。

「ブランカ、あつちへ行つといで。」

少年にこう言われると、少女は赤い唇をふるわせて、デッキをかけて行つた。

「あいつは、わからずやで。ぼくと双子なのです。」と、少年テリー・ホキータは言いわけをするように言つてから、少女の後を追つて行つた。

ポインは、夫人に会いたいという好奇心が増してきた。ジョイス・マーヴィン——そうだ、あの人は青いすきとおるような顔に、あの少女と同じ赤いけしの花のような唇を持つていた。それにまた、大きな眼をたくみに動かす様子も、よく似ていた。

「多分あの子は、一人前の半分なんだからであろう。そういう時は、いつでも母親によく似るものだ。」と、ポインは思つた。だが、なんと訳のわからないことだろう。双子の片割れの女の子は、母親に似ているというのに、テリーは、クリフ・ホキ-

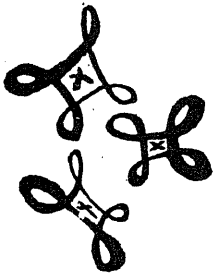
夕には似ていかなかった。それは——殊に、この少年の場合では、質が量におきかわつているように思えた。何に故であるかはわからなかつたが、ブランカの氣むづかしさは、世間にあるがちのものではあるが、兄の方は、たしかにそれとちがつたところがあるのだと思つた。でもかわいそうに、こうした勝れた子供は、どうして病弱に見えるのであろう。

突然に、前の方の特別室から、さつきの若い婦人が、幼児を連れて出てきた。眠むそうな幼児の手をひいて、母親らしくいたわりながら、デッキを歩いてきた。ポインの隣りの椅子に腰をおろして、子供を膝にのせると、

「いいわね、チップ。」と、嗜れやかな声で言つた。チップはあどけない元氣な笑みを浮べて、婦人の帽子をいじつた。二人とも満足げな様子で、ありありとしていた。

※

※



### 保育應答研究会

倉橋先生を中心に、毎回御熱心な多数の方々の御参加により、終始活潑な討論と、和やかな雰囲気の中で、盛會を得て居ります。

一月と五月迄は、種々の都合上、勝手乍ら、休会させていただきます。

フレイベル館内

保育應答研究会係

幼児の教育 第三卷 第五号

定価 金五十円

昭和二十八年五月二十日発行

東京都中野区千光前町一〇

編集兼 倉橋 惣三  
発行者

東京都文京区大塚町三十五

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都板橋区志村町五番地

印刷所 凸版印刷株式会社

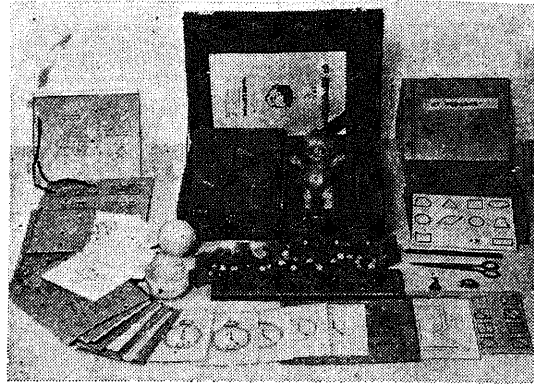
東京都千代田区神田小川町二ノ五

発売所 フレイベル館

振替口座東京一九六四〇番

○大誌御購読について注文申込その他はすべて發賣所フレイベル館宛願います

# 山下・幼児発達検査器



定手  
価提  
三用  
ケ  
〇  
〇  
ス  
円入

竹井機器工業株式會社  
(旧名竹井製作所)

本社  
出張所

東京都港区片門前二丁目一番四  
電話芝(43)六〇六五  
大阪市東区道修町一丁目十一番内  
電話北浜(23)五五三

(御希望の方には本用具の家施手引を拝送いたします)

上の、幼児発達検査は、長年、児童心理学の研究を続けておられる山下俊郎先生が、ミネソタ就学前尺度の長をとり、愛研法、田中・ビネー法、鈴木・ビネー法の問題についても、標準化実験によつて検討を加え、編成されたものです。幼稚園、保育園、児童相談所などに必備のものと思ひ、ひろく御すゝめ申上げる次第であります。

## 童謡絵本のトツパンが贈る

新しい時代の  
新しい童謡決定版



新

し

い

童

謡

大好評!  
入園・入学に絶好の贈りもの

全3集

一齊発売中!

☆別冊付録

解説付楽譜集

(大判楽譜8頁)

B5判16頁  
各集7曲収録  
各冊70円

株式會社

トツパン

東京・日本橋1の20  
振替(東京)41647

はやおきどけい  
きゆつきゆつきゆ  
集 かわいかくれんぼ  
1 大と、いうじ  
第1 大と、いうじ  
おなゆき、こんこ  
おつかいありさん

めだかがっこう  
たかい、たかい  
集 てんとうむし  
2 どんぐ、だり  
第2 どんぐ、だり  
いたずら、すずめ

まっけてね  
みつばちぶんぶん  
集 ふたあつ  
3 ふたあつ  
第3 ふたあつ  
おぼしき、ま  
こぶたさん

6 月 号 予 告

観  
察

# キンダーブック

絵  
本

KINDER-BOOK

第 8 集

【か え る】

第 3 編



☆お子さま方の感情と知識の  
成育のために古く広く好評の高い本☆

A 4判16頁・月一回発行  
解説 付  
定価 45円・送料 8円

## 「かえり」

うつとうしい梅雨が続  
く頃、田圃で、池の蓮葉  
のかけで、蛙の大コーラ  
スが始まります。

蛙は時によると、あま  
り大人には好かれない動  
物です。けれども、彼ら  
の世界を考えてみるとき  
何と彼らは、愛らしい、  
愛嬌のある小さな動物で  
しょう。すばらしいスポ  
ーツマンであり、大コー  
スラ団の会員でもありま  
す。この元気のよい、賑  
やかな、楽しげな「蛙」  
の世界を、描いてみまし  
た。

発行所

東京千代田区神田  
小川町二丁目五番地

株式  
会社

フ レ ー ベ ル 館

振替口座東京  
一九六四〇番